



特記仕様書にある「工事」は「修繕」と読み替えることとする。
修繕名 令和7年度盛岡市立大宮中学校校舎安全対策（外壁・屋上防水等）修繕 特記仕様書
I. 修繕概要
1. 修繕場所 盛岡市本宮大字5番1号
用途地域： 第1種住居地域 防火地域等： 準防火地域
2. 敷地面積 - m<sup>2</sup>
3. 修繕規模 建築： 外壁改修、屋上防水改修、防火戸改修外
電気設備工事： 自火報更新・撤去及び非常放送設備機器更新改修
4. 修繕範囲 (対象建築物竣工年 昭和・平成 年(築年))
特別棟： 鉄筋コンクリート造地上2階建て 東側教室棟①②： 鉄筋コンクリート造4階建て
5. その他
6. 別途工事
II 建築工事仕様
1. 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)

⑨ 技能士
1. 一般事項
① 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督員に報告の上、指示に従うこと。
② 受注者は、監督員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
③ 施工体系図を現場に掲示すること。
④ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督員に提出すること。
調査範囲 ※ 図示
⑤ 建築工事標準詳細図(最新版)
⑥ 工事写真撮影ガイドブック<建築工事編及び解体工事編>(最新版)
⑦ 建築工事監理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

技能検定職種(技能検定作業)
以下に該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事
○とび(とび作業)
鉄筋工事
○鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事
○型枠施工(型枠工事作業)
○コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
鉄骨工事
○とび(とび作業)
○鉄工(構造物鉄工作業)
○ブロック建築(コンクリートブロック工事作業)
○ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)
防水工事
○防水施工(・アスファルト防水工事作業
・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・アクリルゴム系塗膜防水工事作業
・合成ゴム系シート防水工事作業
・塩化ビニル系シート防水工事作業
・セメント系防水工事作業
・シーリング防水工事作業
・改質アスファルトシート防水工事作業
・FRP防水工事作業)

⑩ 提出書類
(契約後)
○工事工程表 ○現場代理人、主任技術者等届
○火災保険加入契約書(写) ○請負代金内訳書
(工事中)
○出来高検査願 ○施工体制台帳(写)
(完成後)
○工事完成届 ○工事完成引渡書
共通、特記仕様書等に定められている主な提出書類
(契約後)
○工事総合施工計画書
(工事中)
○各種工事施工計画書 ○各種工事施工図
○工事作業日報 ○主要資材規格又は品質証明書
○各種試験成績書又は報告書 ○主要資材搬入検査願
○施工体制台帳(写)
(完成後)
○完成図 ○責任施工保証書 ○各種届出書等
○取扱説明書(設備機器説明含む)

⑪ 施工図及び施工計画書
(a) 施工図及び施工計画書は、工事の着手に先立ち、各工種において作成し提出する。
(b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方(最新版)」に準ずるものとする。
(c) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。
(d) 提出部数は、監督員の指示による。
⑫ 設備工事との取合い
施工範囲 各工事の区分表による。
・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
・ 自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強
・ 他指示するところ
施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
13. 住宅瑕疵担保責任
住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付けあり(新築住宅の場合) なし(新築住宅以外の場合)

⑬ 仮囲い
⑭ 仮設事務所
⑮ 仮設養生
⑯ 仮設足場
⑰ 養生
⑱ 仮設間仕切り
⑲ その他仮設
2. 1. アスファルト防水
改修工法の種類 <3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3~10>
新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所
・ E-1 屋内(便所・浴室)
アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 ※3種 <3.2.2>
脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.3.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
2. 伸縮調整目地
改修工法の種類 <3.1.4><3.4.3><表3.1.1><表3.4.1~3>
新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料
・ AS-T ※ カラー
・ AS-J ※ シルバー
・ ASI-
脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.4.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
4. 合成高分子系ルーフィングシート防水
改修工法の種類 <3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1~2>
新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料
・ S-F ※ カラー
・ S-M2 ※ シルバー
・ SI-
脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.5.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
5. 塗膜防水
改修工法の種類 <3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1~2>
新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料
○X-1 L3X パネル・展望室 ※ カラー
・ X-2 ※ シルバー
・ Y-2
脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない <3.6.3>
種類 ・ 平面部脱気型 ・ 立ち上がり部脱気型
施工業者 防水層製品の製造所又はその指定業者とする。

① 一般事項
② 適用基準等
③ 実施工程表
④ 電気保安技術者
⑤ 建築材料等
⑥ 室内の空気中の化学物質濃度の測定
⑦ 特別な材料の工法
⑧ 施工調査

1. 一般事項
2. 適用基準等
3. 実施工程表
4. 電気保安技術者
5. 建築材料等
6. 室内の空気中の化学物質濃度の測定
7. 特別な材料の工法
8. 施工調査

1. 一般事項
2. 適用基準等
3. 実施工程表
4. 電気保安技術者
5. 建築材料等
6. 室内の空気中の化学物質濃度の測定
7. 特別な材料の工法
8. 施工調査

1. 一般事項
2. 適用基準等
3. 実施工程表
4. 電気保安技術者
5. 建築材料等
6. 室内の空気中の化学物質濃度の測定
7. 特別な材料の工法
8. 施工調査

4 外 壁 改 修 工 事	3. タイル張り仕上外壁	<p>・ 浮き部改修 <span style="float:right">&lt;4.4.4&gt;&lt;4.4.8~15&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アンカーピン (本/m)</th> <th>注入口 (箇/m)</th> <th>想定箇所</th> </tr> <tr> <td>一般部</td> <td>指定部</td> <td>指定部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・充てん工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	アンカーピン (本/m)	注入口 (箇/m)	想定箇所	一般部	指定部	指定部		・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25		・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※12		・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※12		・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※20		・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※9		・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※16	※16		・充てん工法				・モルタル塗替え工法				4 外 壁 改 修 工 事	⑥ 塗り仕上げ外壁	<p>○仕上塗材 <span style="float:right">&lt;4.1.5&gt;&lt;4.2.2&gt;&lt;4.2.4~5&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上の形状</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・ローラー ・こて</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・ゆず肌</td> <td>・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・凹凸</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・ローラー ・こて</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・着色骨材砂壁状</td> <td>・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・吹放し</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">○ローラー</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>・凸部処理</td> <td>・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・複層塗材E</td> <td>・凹凸</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・ローラー</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌</td> <td>・ローラー</td> </tr> </table>	規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	備 考	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・ローラー ・こて	・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌	・ローラー	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材E	・凹凸	・吹付け	・ローラー ・こて	・防水形外装薄塗材E	・着色骨材砂壁状	・ローラー	○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・吹放し	・吹付け	○ローラー	・複層塗材Si	・凸部処理	・ローラー	・可とう形改修用仕上塗材	・複層塗材E	・凹凸	・吹付け	・ローラー	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌	・ローラー	5 建 具 改 修 工 事	3. 網戸	<p>使用方法による区分 <span style="float:right">&lt;5.2.3&gt;</span></p> <p>※外面納まりの可動式 ※内部納まりの開き式</p> <p>防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス (SUS 316) ※合成樹脂 防鳥網 ※ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm</p>	4. 樹脂製建具	<p>外部に面する建具性能等級等 <span style="float:right">&lt;5.3.2&gt;&lt;表5.3.1&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ A 種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td rowspan="3">※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ B 種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> </tr> <tr> <td>・ C 種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> </tr> </table> <p>※ 適用箇所は図示による</p>	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・ A 種	S-4	A-4	W-4	※建具表による	・ B 種	S-5	A-4	W-5	・ C 種	S-6	A-4	W-5	11. 重量シャッター	<p>スラット及びシャッターケース用鋼板 <span style="float:right">&lt;5.10.3&gt;</span></p> <p>※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)</p>
		工 法	アンカーピン (本/m)	注入口 (箇/m)	想定箇所																																																																																																						
		一般部	指定部	指定部																																																																																																							
		・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25																																																																																																							
		・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※12																																																																																																							
		・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※12																																																																																																							
		・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※20																																																																																																							
		・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※9																																																																																																							
		・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※16	※16																																																																																																							
		・充てん工法																																																																																																									
・モルタル塗替え工法																																																																																																											
規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	備 考																																																																																																							
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・ローラー ・こて																																																																																																							
	・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌	・ローラー																																																																																																								
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材E	・凹凸	・吹付け	・ローラー ・こて																																																																																																							
	・防水形外装薄塗材E	・着色骨材砂壁状	・ローラー																																																																																																								
○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・吹放し	・吹付け	○ローラー																																																																																																							
	・複層塗材Si	・凸部処理	・ローラー																																																																																																								
・可とう形改修用仕上塗材	・複層塗材E	・凹凸	・吹付け	・ローラー																																																																																																							
	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌	・ローラー																																																																																																								
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																																																							
・ A 種	S-4	A-4	W-4	※建具表による																																																																																																							
・ B 種	S-5	A-4	W-5																																																																																																								
・ C 種	S-6	A-4	W-5																																																																																																								
4. 材料	5. タイル張り	<p>・ ひび割れ部改修 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;&lt;4.5.5~8&gt;&lt;4.5.16&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>ひび割れの幅 (mm)</th> <th>延べ長さ (想定m)</th> </tr> <tr> <td>※ 樹脂注入工法</td> <td>・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂</td> <td>0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ タイル貼り除去後 ・ウカットシール材充てん工法</td> <td>・ シーリング材PU-2</td> <td>0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・樹脂注入工法の上タイル張替え工法</td> <td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td> <td>1.0~1.5未満 1.5~2.0未満</td> <td>~ 未満</td> </tr> <tr> <td>・ タイル部分張替え工法</td> <td>・ ポリマーセメント ・ モルタル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (想定m)	※ 樹脂注入工法	・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		※ タイル貼り除去後 ・ウカットシール材充てん工法	・ シーリング材PU-2	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満		・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満	~ 未満	・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメント ・ モルタル			7. 外壁用塗膜防水材塗り	<p>外壁用塗膜防水塗り <span style="float:right">&lt;4.1.5&gt;&lt;4.2.2&gt;&lt;4.8.2&gt;&lt;表4.2.6&gt;</span></p> <p>仕上げの形状 <span style="float:right">工 法</span></p> <p>外壁用仕上塗材の耐候性 <span style="float:right">工 法</span></p> <p>※JIS A 6909の耐候性1種相当</p> <p>下地準動緩衝材の適用 <span style="float:right">適用する</span> <span style="float:right">適用しない</span></p> <p>吹付け工法の模様材の種類 <span style="float:right">・所要量 (kg/m<sup>2</sup>)</span></p> <p>外壁用仕上塗材の種類 <span style="float:right">・所要量 (kg/m<sup>2</sup>)</span></p>	6. 鋼製軽量建具	<p>簡易気密型ドアセット <span style="float:right">&lt;5.4.2&gt;&lt;5.4.4&gt;&lt;表5.4.1&gt;&lt;表5.4.2&gt;</span></p> <p>※ 使用する (適用箇所は図示とする)</p> <p>気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない</p>	12. 軽量シャッター	<p>開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度 スラットの形状 保護装置</p> <p>※ 手動式 ※ 設ける 建具表及び図示による ※ インターロッキング型 障害物感知装置 (自動閉鎖型) を設ける</p>																																																																															
		工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (想定m)																																																																																																						
		※ 樹脂注入工法	・ 低粘度エポキシ樹脂 ・ 高粘度エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満																																																																																																							
		※ タイル貼り除去後 ・ウカットシール材充てん工法	・ シーリング材PU-2	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満																																																																																																							
		・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満	~ 未満																																																																																																						
		・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメント ・ モルタル																																																																																																								
		5. 一般事項	2. アルミニウム製建具	<p>コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修) による</p> <p>モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による</p> <p>既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事 (塗仕上げ外壁等改修) による</p>	7. ステンレス製建具	<p>簡易気密型ドアセット <span style="float:right">&lt;5.5.2&gt;&lt;表5.5.1&gt;</span></p> <p>※ 使用する (適用箇所は図示による)</p> <p>気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない</p>	13. オーバーヘッドドア	<p>スラットの材質 <span style="float:right">&lt;5.11.3&gt;</span></p> <p>※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322)</p>																																																																																																			
				6. 木製建具		1. 一般事項		<p>工 法 <span style="float:right">処 理 範 囲</span></p> <p>○サンダー工法 ※ 既存仕上面全体 <span style="float:right">・ 図示</span></p> <p>・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上面全体 <span style="float:right">・ 図示</span></p> <p>・ 塗膜はく離剤工法 ※ 既存仕上面全体 <span style="float:right">・ 図示</span></p> <p>・ 水洗い工法 ※ 既存仕上面全体 <span style="float:right">・ 図示</span></p>	8. 木製建具	<p>簡易気密型ドアセット <span style="float:right">&lt;5.6.2&gt;</span></p> <p>※ 使用する (適用箇所は図示による)</p> <p>気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない</p>	14. ガラス	<p>保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける <span style="float:right">・ 設けない</span></p>																																																																																															
								7. 目地改修工法		1. 一般事項		<p>目地改修工法 <span style="float:right">&lt;4.5.4&gt;&lt;4.5.7~15&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>平均深さ (mm)</th> <th>想定延べ面積 (m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>※ タイル部分張替え工法</td> <td>・ ポリマーセメント ・ モルタル</td> <td>10~15未満 15~20未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ タイル張替え工法</td> <td></td> <td>~</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	平均深さ (mm)	想定延べ面積 (m <sup>2</sup> )	※ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメント ・ モルタル	10~15未満 15~20未満		・ タイル張替え工法			~				9. 建具用金物	<p>外部に面する建具 <span style="float:right">&lt;5.2.2&gt;&lt;5.2.4&gt;&lt;表5.2.1&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ A 種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100)</td> </tr> <tr> <td>・ B 種</td> <td>S-5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C 種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>※100</td> </tr> </table> <p>※ 適用箇所は図示による</p>	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・ A 種	S-4	A-3	W-4	70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100)	・ B 種	S-5				・ C 種	S-6	A-4	W-5	※100	10. 自動ドア開閉装置	<p>材質は (表16.8.1) により、建具の形式に応じたものとする。 (表16.8.1) 以外で建具の機能に必要な金物は、建具の製造所の仕様による。</p> <p>標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型)のドアクローザー、シリンドラ箱錠は公共工事標準型とする。</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。</p> <p>マスターキーの製作 <span style="float:right">・ 要 ( 本 )</span> <span style="float:right">・ 不要</span> <span style="float:right">&lt;5.7.4&gt;</span></p> <p>鍵 箱 <span style="float:right">・ 要 (市販品 フック数(本)・30 ・40 ・60 ・100)</span> <span style="float:right">・ 不要</span></p> <p>性能 <span style="float:right">&lt;5.8.2&gt;&lt;表5.8.1~2&gt;</span></p> <p>引き戸用検出装置の種類 <span style="float:right">&lt;5.8.3&gt;&lt;表5.8.4&gt;</span></p> <p>※ 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用開閉装置は、補助センサー併用とする</p> <p>凍結防止装置 <span style="float:right">・ 要</span> <span style="float:right">※ 不要</span></p> <p>全半開装置 <span style="float:right">※ 設ける (半開幅= )</span> <span style="float:right">・ 設けない</span></p>																																																								
												工 法	材 料	平均深さ (mm)	想定延べ面積 (m <sup>2</sup> )																																																																																												
※ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメント ・ モルタル											10~15未満 15~20未満																																																																																															
・ タイル張替え工法												~																																																																																															
種 別	耐風圧性											気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																																													
・ A 種	S-4											A-3	W-4	70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100)																																																																																													
・ B 種	S-5																																																																																																										
・ C 種	S-6											A-4	W-5	※100																																																																																													
8. 目地改修工法	2. アルミニウム製建具	<p>目地改修工法 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;&lt;4.5.8&gt;</span></p> <p>アンカーピンの材質 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;</span></p> <p>※ &lt;4.2.2(5)(6)&gt;による。</p> <p>アンカーピン固定用エポキシ樹脂 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;</span></p> <p>※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※硬質 高粘度形</p> <p>注入用エポキシ樹脂 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;</span></p> <p>※ JIS A6024のJIS表示認証製品</p>	10. 自動ドア開閉装置		<p>表面処理 <span style="float:right">&lt;5.6.4&gt;</span></p> <p>外部に面する建具 ※ BB-1種 <span style="float:right">・ BB-2種</span></p> <p>内部建具 ※ BC-1種 <span style="float:right">・ BC-2種</span></p> <p>BB-2種、BC-2種の場合 <span style="float:right">・ ブロンズカラー (※標準色 ・ 濃色)</span> <span style="float:right">・ ステンカラー</span></p> <p>防音ドア、防音サッシ <span style="float:right">&lt;5.6.5&gt;</span></p> <p>※ 適用する (適用箇所は図示による)</p> <p>適用する場合の遮音性の等級 <span style="float:right">・ T-1 ・ T-2 ・ T-3</span></p> <p>断熱ドア、断熱サッシ <span style="float:right">&lt;5.6.5&gt;</span></p> <p>※ 適用する (適用箇所は図示による)</p> <p>適用する場合の断熱性の等級 <span style="float:right">・ H-2 ・ H-3</span></p> <p>耐震ドア、耐震サッシ <span style="float:right">&lt;5.6.5&gt;</span></p> <p>※ 適用する (適用箇所は図示による)</p> <p>適用する場合の面内変形追随性の等級 <span style="float:right">・ D-1 ・ D-2</span></p>																																																																																																						
		9. 目地改修工法		2. アルミニウム製建具	<p>目地改修工法 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;&lt;4.5.8&gt;</span></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>色</th> <th>再生材利用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">うわぐすり</td> <td rowspan="2">施 無 有 無</td> <td rowspan="2">役物</td> <td rowspan="2">色</td> <td rowspan="2">再生材</td> </tr> <tr> <td>標準注文</td> <td>利用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ゆうゆう</td> <td rowspan="2">施 無 有 無</td> <td rowspan="2">役物</td> <td rowspan="2">色</td> <td rowspan="2">再生材</td> </tr> <tr> <td>標準注文</td> <td>利用</td> </tr> </table> <p>※セメントモルタルによるタイル張替え工法 <span style="float:right">&lt;表4.5.4&gt;</span>により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル張替え工法 <span style="float:right">&lt;表4.5.5&gt;</span>による。</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)		色		再生材利用	備考	うわぐすり	施 無 有 無	役物	色	再生材	標準注文	利用	ゆうゆう	施 無 有 無	役物	色	再生材	標準注文	利用	10. 自動ドア開閉装置		<p>目地改修工法 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;&lt;4.5.8&gt;</span></p> <p>アンカーピンの材質 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;</span></p> <p>※ &lt;4.2.2(5)(6)&gt;による。</p> <p>アンカーピン固定用エポキシ樹脂 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;</span></p> <p>※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※硬質 高粘度形</p> <p>注入用エポキシ樹脂 <span style="float:right">&lt;4.2.2&gt;</span></p> <p>※ JIS A6024のJIS表示認証製品</p>																																																																														
					施工箇所	形状寸法 (mm)	色	再生材利用	備考																																																																																																		
					うわぐすり	施 無 有 無	役物	色	再生材																																																																																																		
										標準注文	利用																																																																																																
					ゆうゆう	施 無 有 無	役物	色	再生材																																																																																																		
										標準注文	利用																																																																																																

6 ① 改修範囲 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
2. 既存床の撤去・下地補修
3. 改修後の床の清掃範囲
4. 既存壁の撤去・下地補修
5. 木材
6. 集積材
7. 床張り用合板
8. 防蟻・防蟻・防虫処理
9. 軽量鉄骨天井下地材
10. 軽量鉄骨壁下地材
11. 体育館の鋼製床下地
12. ビニル床シート張り
13. ビニル床タイル張り
14. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能
15. 視覚障害者用床タイル
16. ビニル幅木

17. カーペット敷き
18. 合成樹脂塗床
19. フローリング張り
20. 畳敷き
21. 石こうボードその他ボード張り
22. 遮音シール材
23. 壁紙張り
24. タイル張り

25. セルフベリング材塗り
7 ① 防火材料
② 下地調整
③ 錆止め塗料塗り
④ 各種塗装
8 ① 鉄筋の種類
2. 溶接金網
3. 鉄筋の継手
4. 柱の帯筋
5. 圧接完了後の抜取試験
1. 設計基準強度

2. レディーミクストコンクリート
3. 打放し仕上げの種類
4. セメントの種類
5. 骨材
6. 混和材料
7. 軽量コンクリート
8. 無筋コンクリート
9. グラウト材
10. 柱底等の均しモルタル
11. 型枠
12. コンクリートの打込み工法
13. 既存部分の撤去
1. あと施工アンカー
2. あと施工アンカーの試験
3. 埋込配管等の探査
1. 鉄骨製作工場
2. 鋼材の種類
3. 高力ボルト
4. 溶接部の試験
5. 錆止め塗料
6. 耐火被覆

Table with columns for item number, name, and specifications. Includes sections for '7. アンカーボルト', '8. 既存部分の撤去', '8-5 耐震補強工事', '8-6 耐震スリット', '8-7 耐震改修工事', '8-8 土工事', '9-1 環境配慮改修工事'.

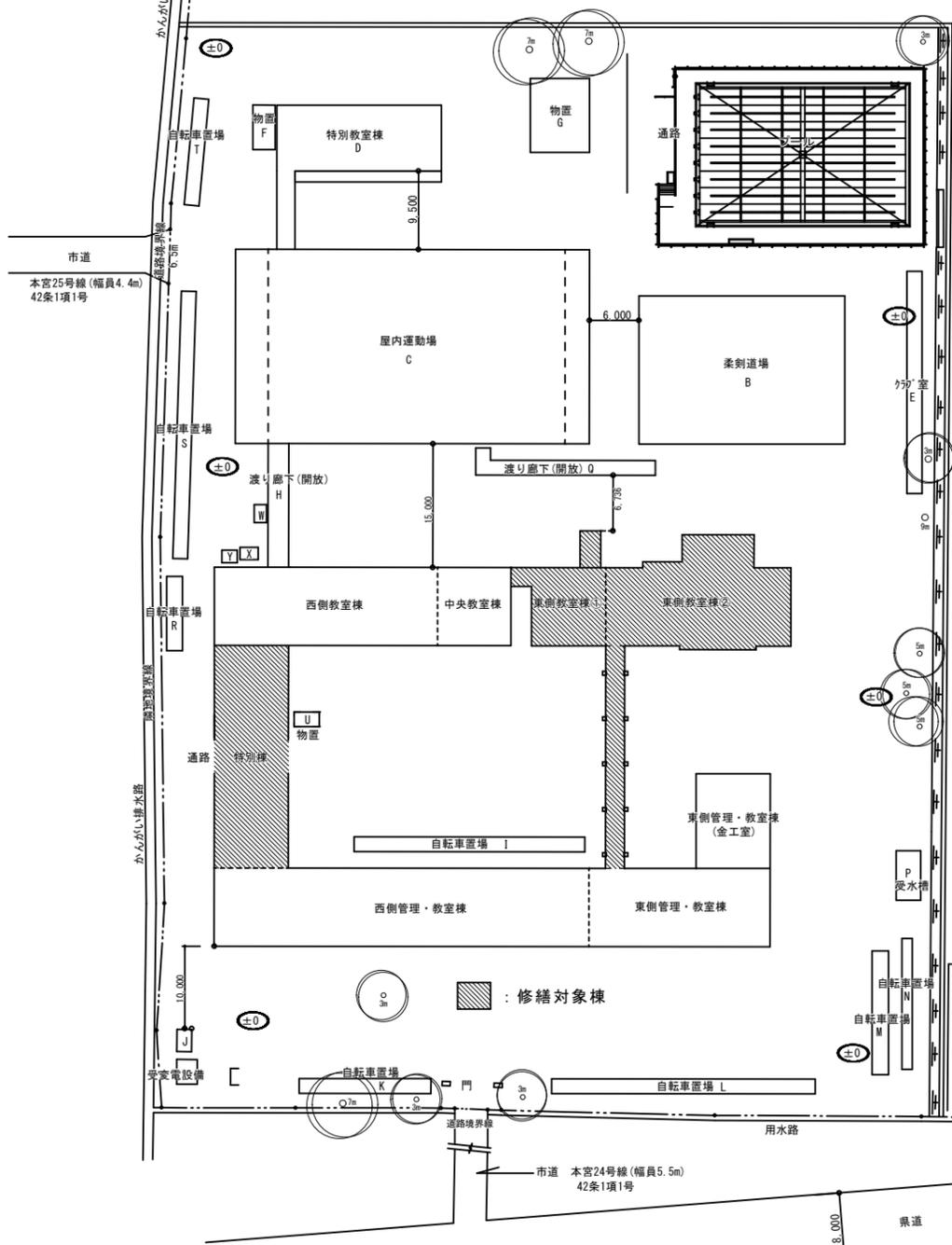
Table with columns for '測定名称', '測定時期', '測定場所', '測定箇所数'. Includes sections for '石綿含有濃度測定', 'JIS K 3850-1に基づいた測定', '石綿含有建材の処理', '石綿含有建材等調査結果'.

Table with columns for '種類', '箇所', '厚さ(mm)', '備考'. Includes sections for '上記以外に用いる断熱材', '1. コンクリートブロック', '11. 再生材', '12. 盛土材料', '13. フィルター層', '14. 路床安定処理', '15. 砂の粒度試験', '16. 路床土の支持力比', '17. 路床の締固め', '18. 路盤材料', '19. 路盤の締固め', '20. アスファルト舗装', '21. コンクリート舗装', '22. カラー舗装', '23. 透水性アスファルト舗装', '24. ブロック系舗装', '25. 砂利敷き', '26. 区画線', '27. フリーアクセスフロア'.

Table with columns for item number, name, and specifications. Includes sections for '2. 可動間仕切', '3. 移動間仕切', '4. トイレブース', '5. 階段滑り止め', '6. 床目地棒', '7. 鏡', '8. 表示', '9. 点検口', '10. 視覚障害者用誘導ブロック', '11. 消火器'.



隣地境界線



付近見取図

配置図 S=1/400

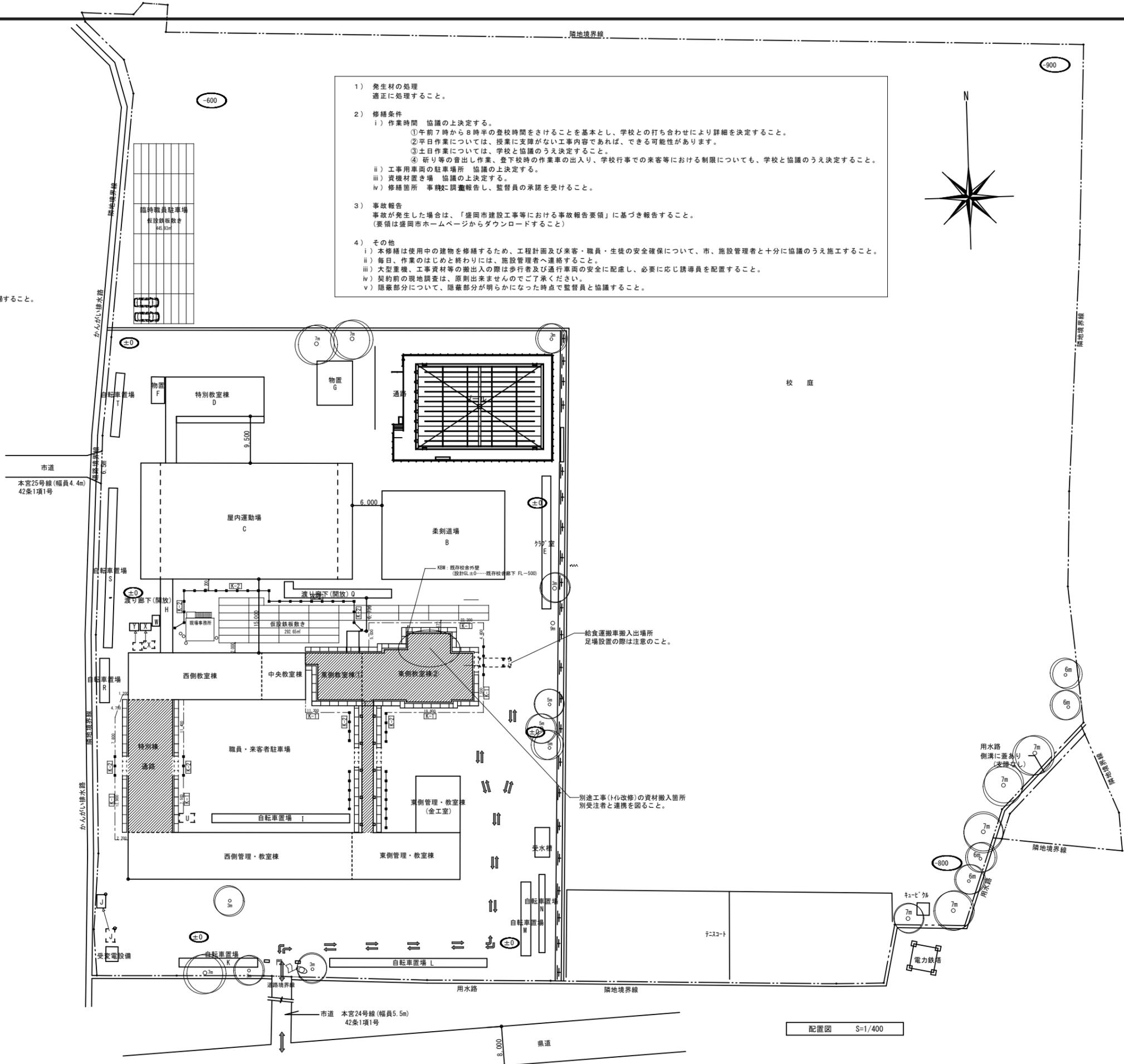
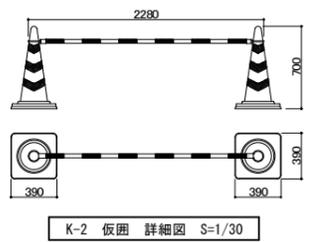
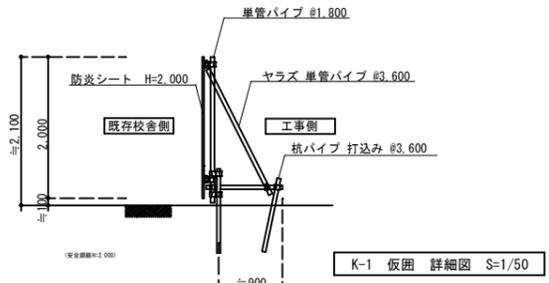


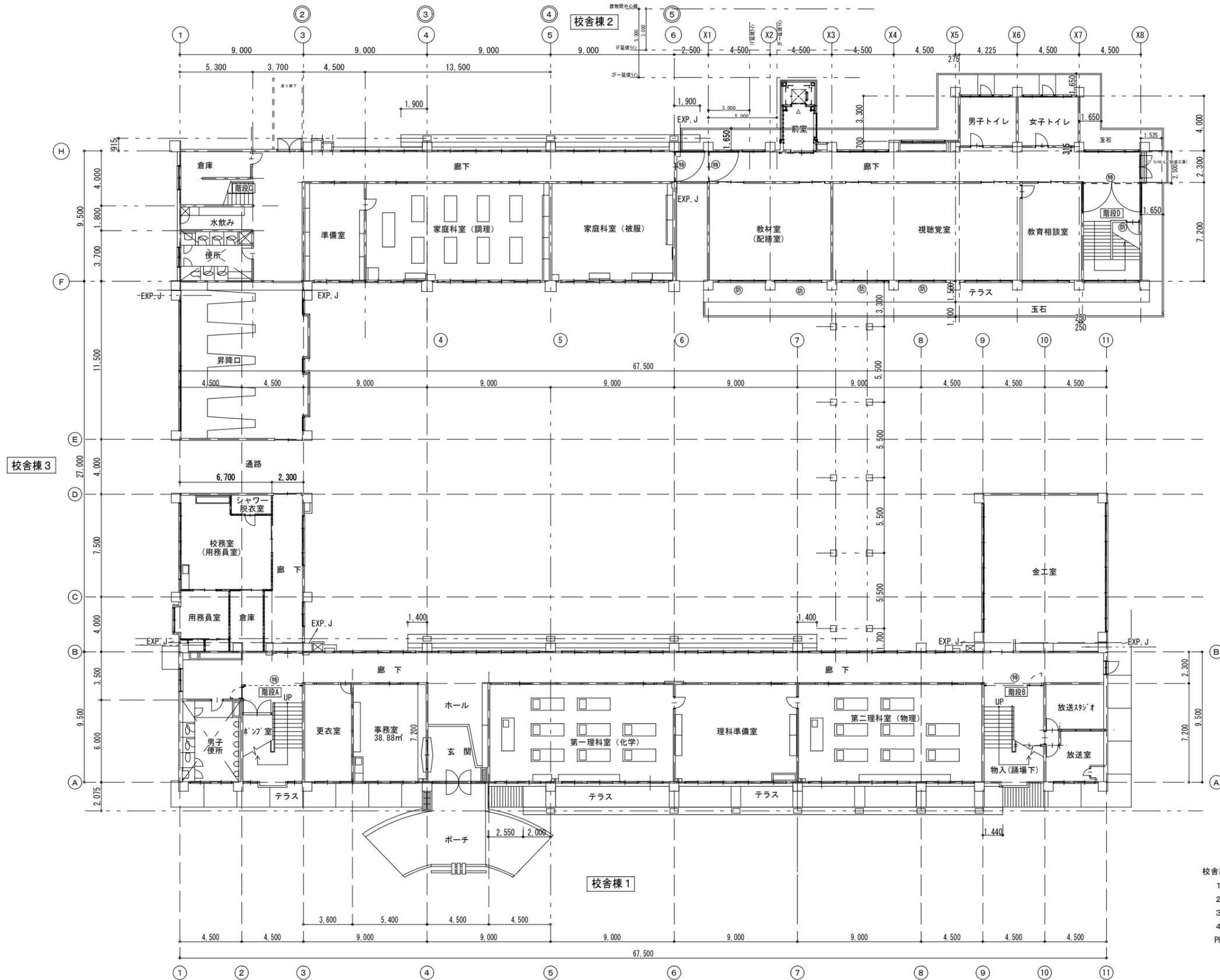
- 1) 発生材の処理  
適正に処理すること。
- 2) 修繕条件  
i) 作業時間 協議の上決定する。  
①午前7時から8時半の登校時間をさけることを基本とし、学校との打ち合わせにより詳細を決定すること。  
②平日作業については、授業に支障がない工事内容であれば、できる可能性があります。  
③土日作業については、学校と協議のうえ決定すること。  
④折り返しの音出し作業、登下校時の作業車の出入り、学校行事での来客等における制限についても、学校と協議のうえ決定すること。  
ii) 工事用車両の駐車場所 協議の上決定する。  
iii) 資機材置き場 協議の上決定する。  
iv) 修繕箇所 事前校へ調査報告し、監督員の承諾を受けること。
- 3) 事故報告  
事故が発生した場合は、「盛岡市建設工事等における事故報告要領」に基づき報告すること。  
(要領は盛岡市ホームページからダウンロードすること)
- 4) その他  
i) 本修繕は使用中の建物を修繕するため、工程計画及び来客・職員・生徒の安全確保について、市、施設管理者と十分に協議のうえ施工すること。  
ii) 毎日、作業のはじめと終わりには、施設管理者へ連絡すること。  
iii) 大型重機、工事資材等の搬入の際は歩行者及び通行車両の安全に配慮し、必要に応じ誘導員を配置すること。  
iv) 契約前の現地調査は、原則出来ませんのでご了承ください。  
v) 隠蔽部分について、隠蔽部分が明らかになった時点で監督員と協議すること。



※工事期間中、工事車両進入口には、交通誘導員を配置すること。  
 ※工事車両の泥・埃等により道路を汚さないよう努力すること。汚れた場合は、すみやかに施工者の責において清掃すること。  
 ※仮設計画について、監督員・学校側と協議の上決定すること。  
 ※外構工事の仮設は、監督員・学校側と協議して実施すること。

項目	種類	摘要	単位	数量
K-1	----- 仮囲い	単管 防災シート H=2,000	m	120
K-2	●●●● 仮囲い	カラーコーン H700 (コーン4付共) コーンH - L2,280	個 本	55 47
CG	~~~~ クロスゲート	W=3,000 H=1,800 W=6,000 H=1,800	基 基	- -
	仮設鉄板敷き	t=22 1,524×3,048 1,524×6,096	m <sup>2</sup>	739
	交通誘導員	約3ヵ月	人	50
	外部足場 W900 (布幅) くさび緊結式足場 (養生シート張り(防災Ⅱ類))			工事用車両進入経路
	工事範囲			





1階平面図 S=1:150

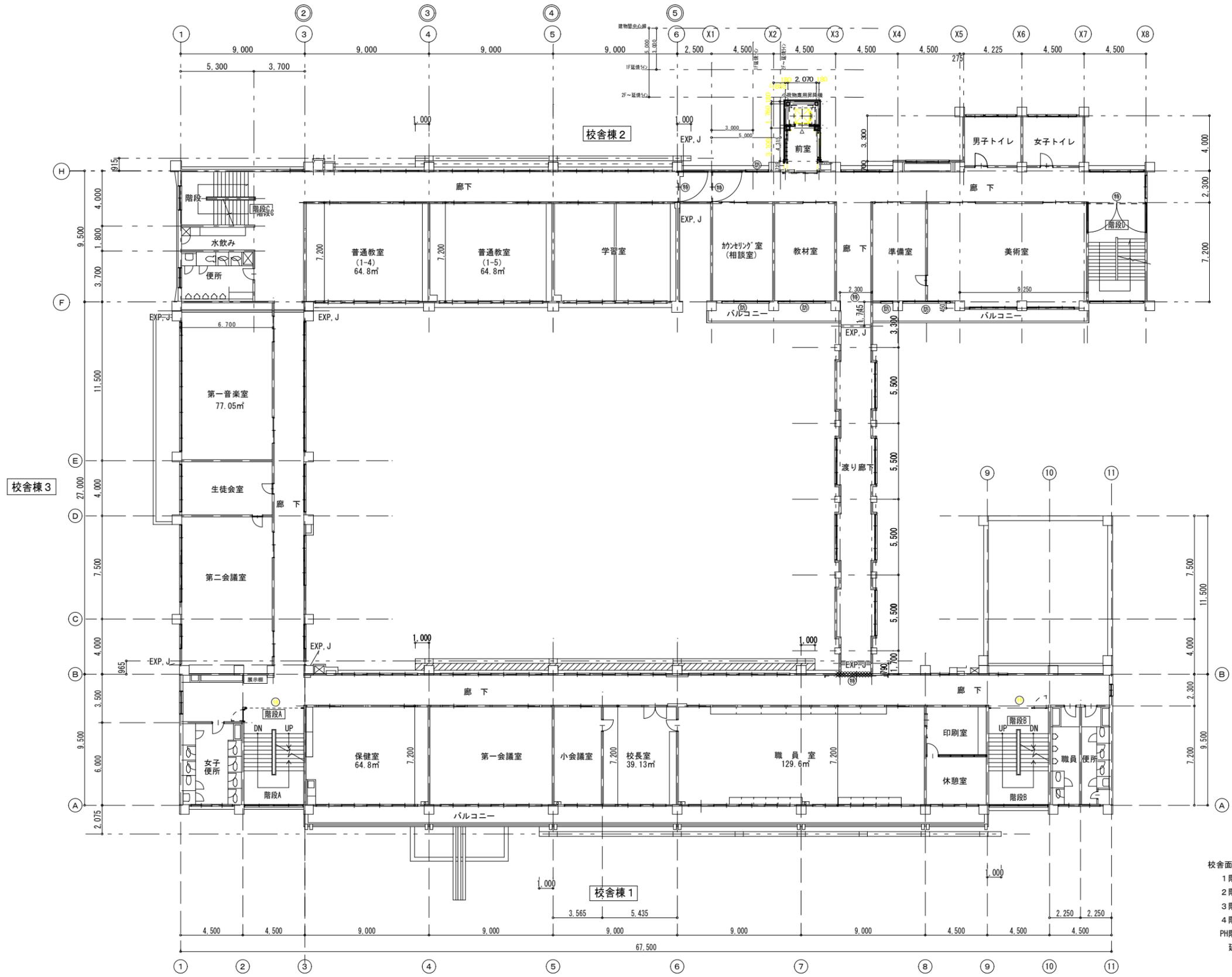
校舎面積

1階床面積	1,636.99㎡ + 12.24㎡ = 1,649.23㎡
2階床面積	1,637.97㎡ + 12.25㎡ = 1,650.22㎡
3階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
4階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
PH階床面積	68.40㎡
延床面積	5,996.34㎡ + 48.97㎡ = 6,045.31㎡

記号凡例

特	特定防火設備
防	防火設備





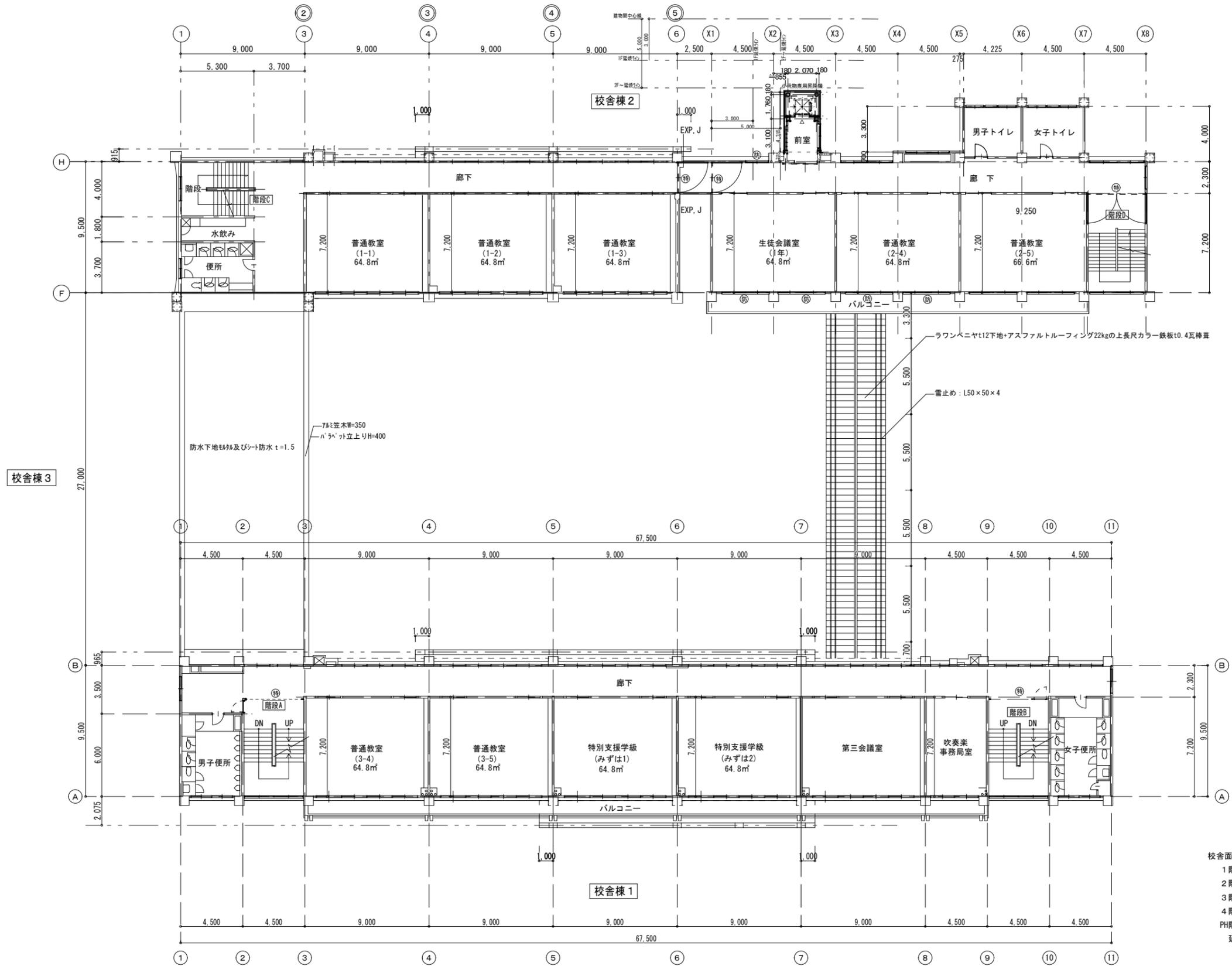
2階平面図 S=1:150

校舎面積

1階床面積	1,636.99㎡ + 12.24㎡ = 1,649.23㎡
2階床面積	1,637.97㎡ + 12.25㎡ = 1,650.22㎡
3階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
4階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
PH階床面積	68.40㎡
延床面積	5,996.34㎡ + 48.97㎡ = 6,045.31㎡

記号凡例

特	特定防火設備
防	防火設備



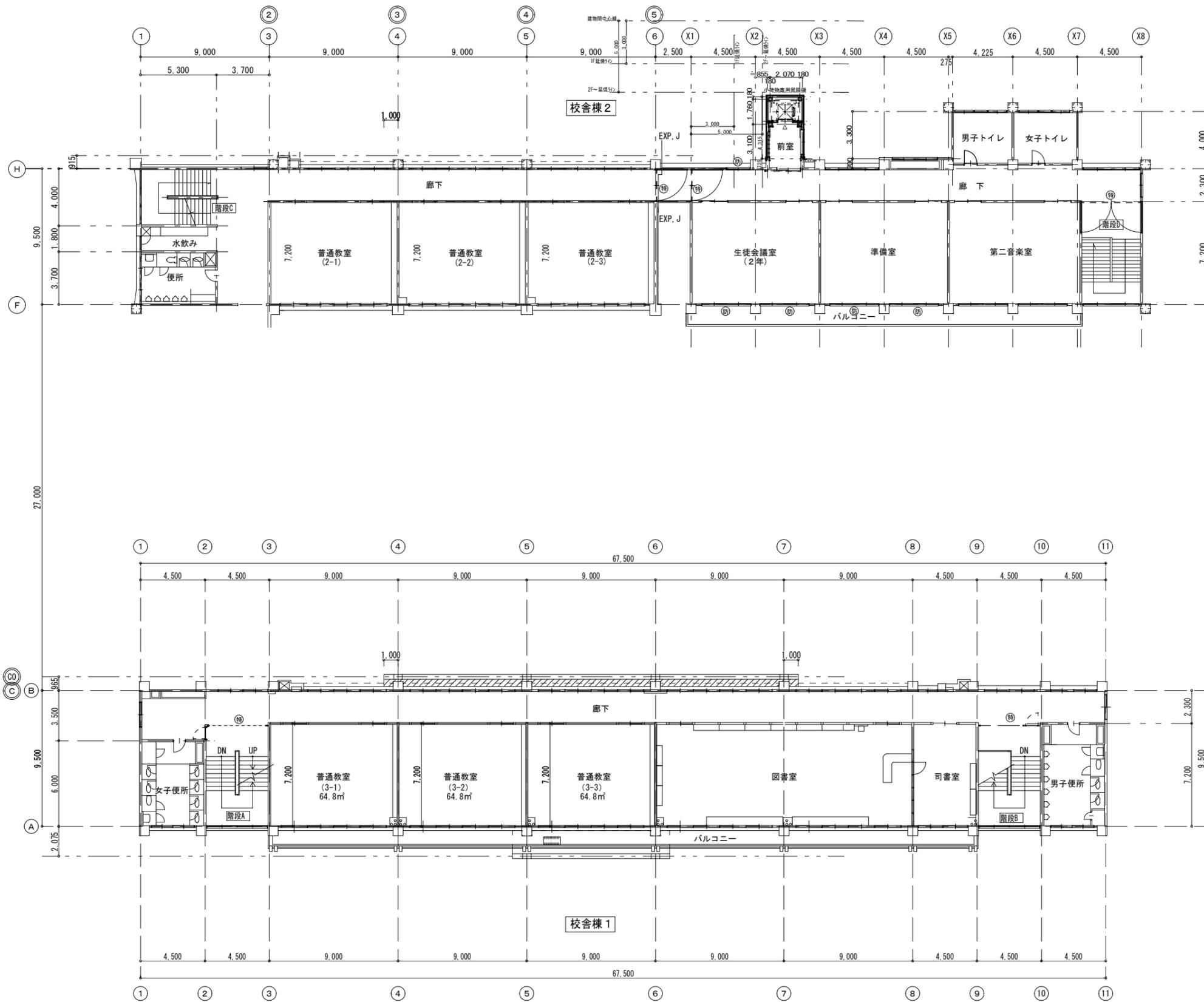
3階平面図 S=1:150

校舎面積

1階床面積	1,636.99㎡ + 12.24㎡ = 1,649.23㎡
2階床面積	1,637.97㎡ + 12.25㎡ = 1,650.22㎡
3階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
4階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
PH階床面積	68.40㎡
延床面積	5,996.34㎡ + 48.97㎡ = 6,045.31㎡

記号凡例

特	特定防火設備
防	防火設備



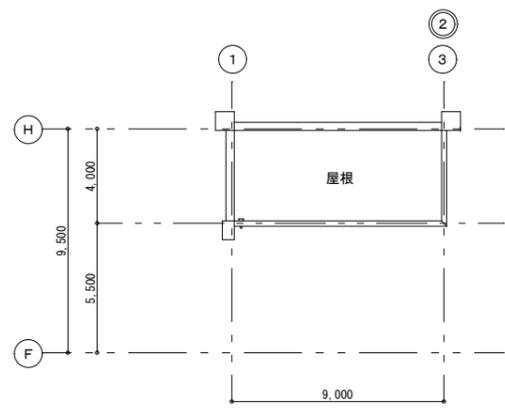
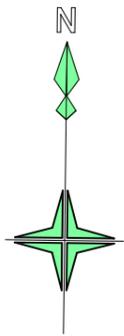
4階平面図 S=1:150

校舎面積

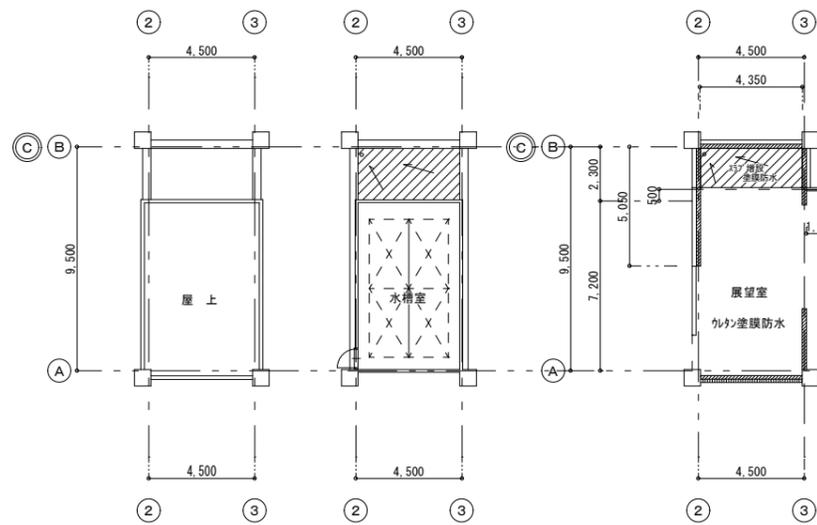
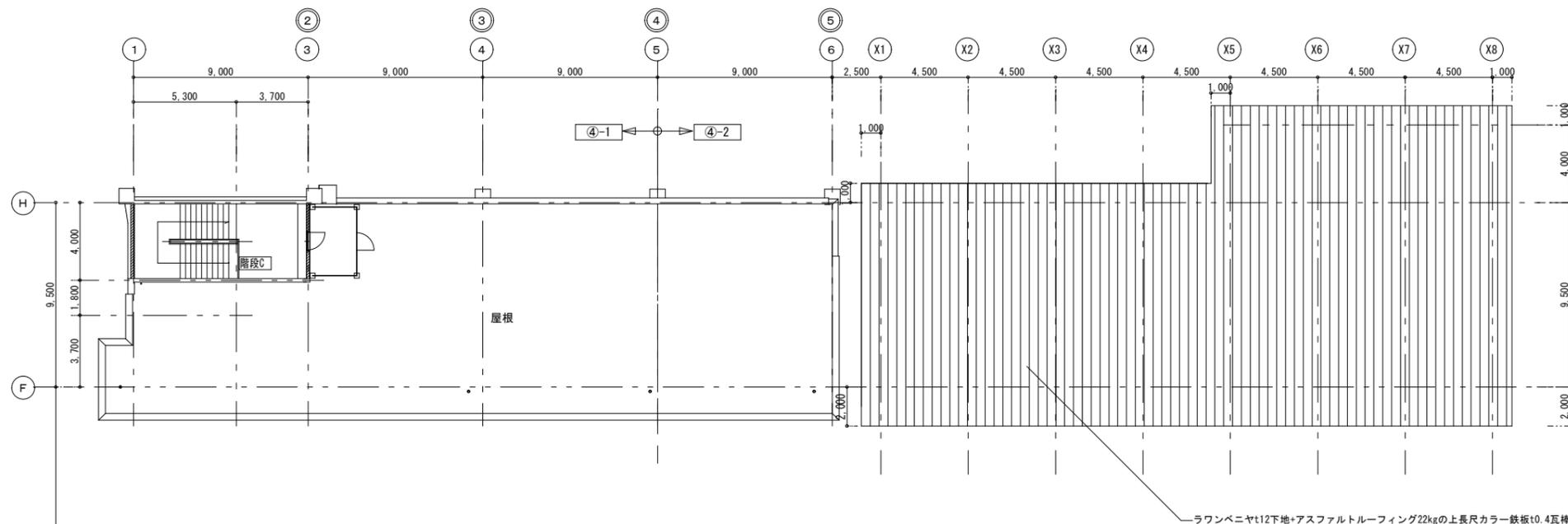
1階床面積	1,636.99㎡ + 12.24㎡ = 1,649.23㎡
2階床面積	1,637.97㎡ + 12.25㎡ = 1,650.22㎡
3階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
4階床面積	1,326.49㎡ + 12.24㎡ = 1,338.73㎡
PH階床面積	68.40㎡
延床面積	5,996.34㎡ + 48.97㎡ = 6,045.31㎡

記号凡例

(特)	特定防火設備
(防)	防火設備



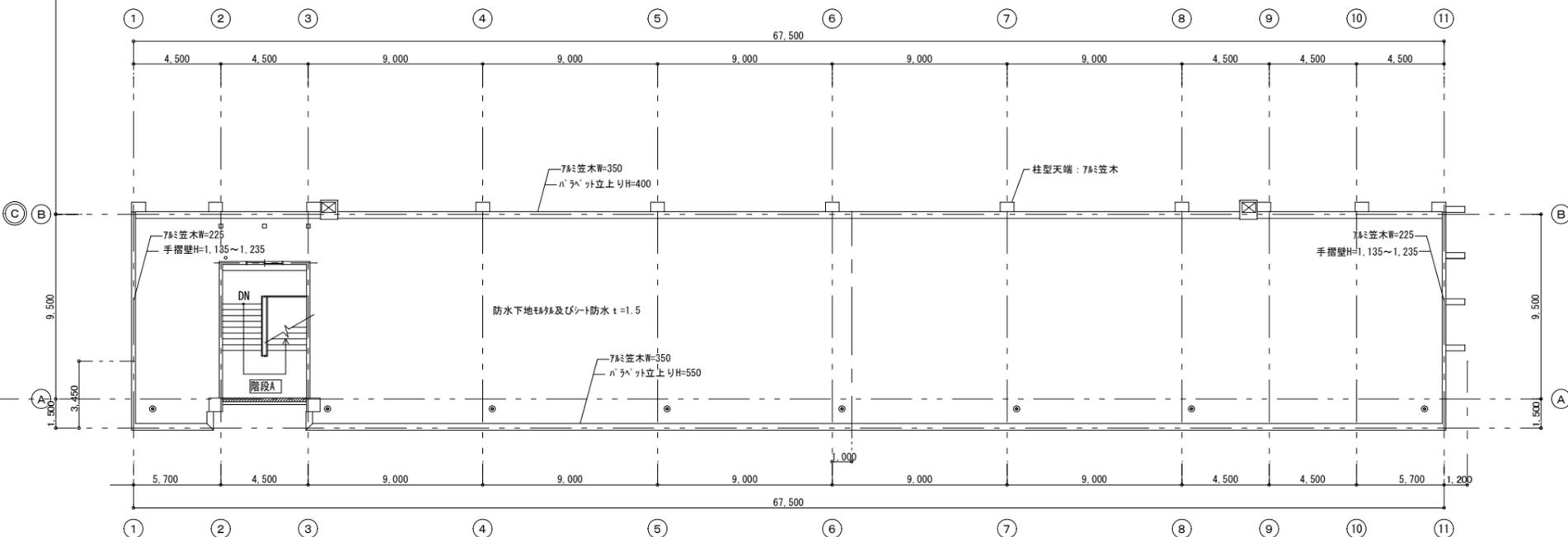
PH階屋上平面図 S=1:150



PH階屋上平面図 S=1:150

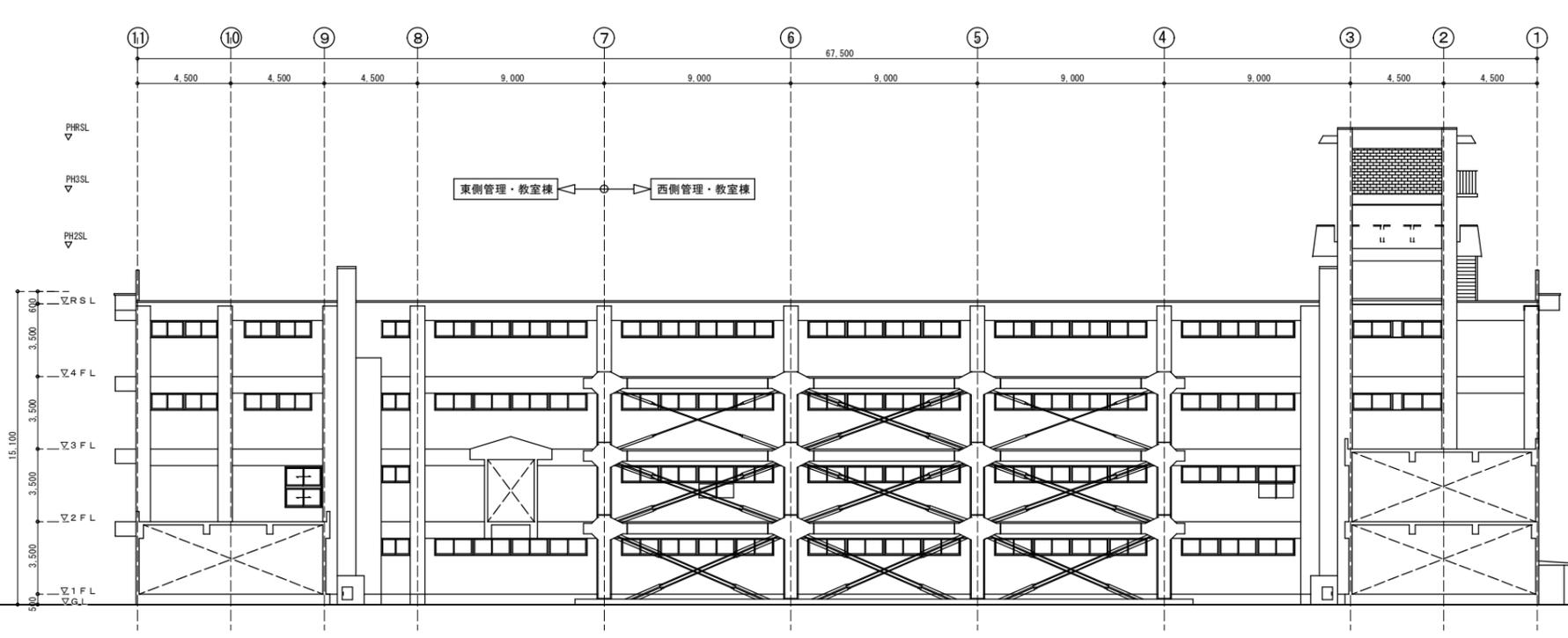
水槽室平面図 S=1:150

展望室平面図 S=1:150

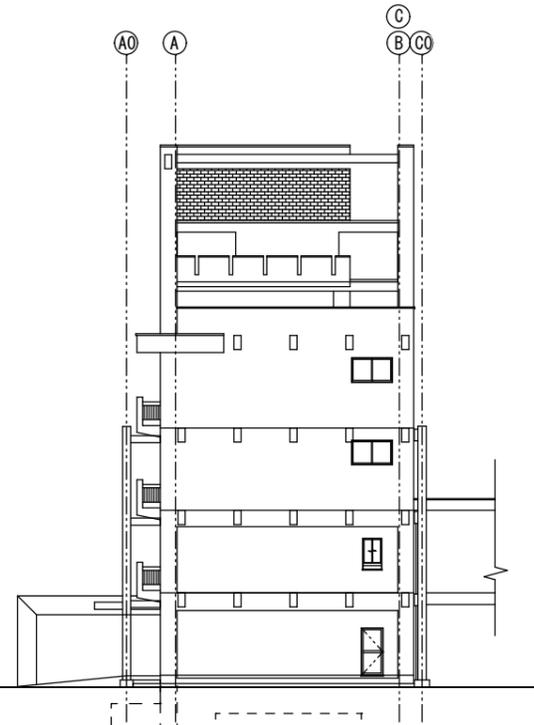


屋上平面図 S=1:150

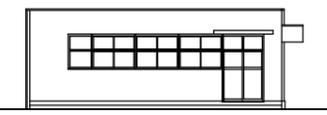




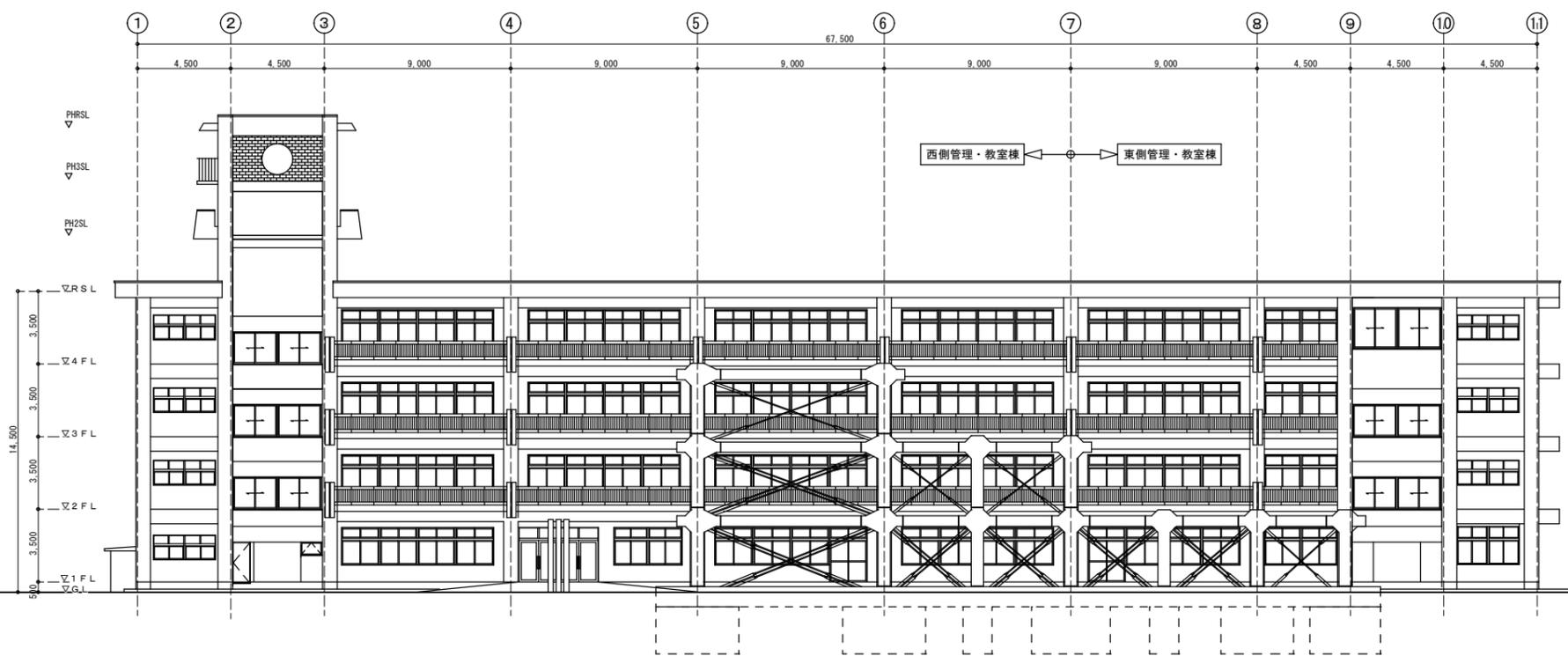
北側立面図 S=1:150  
東側・西側 管理・教室棟



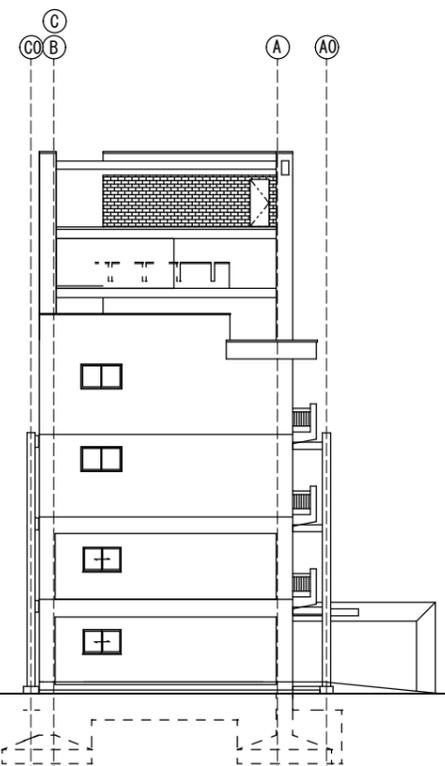
東側立面図 S=1:150  
東側 管理・教室棟



東側立面図 S=1:150  
東側 管理・教室棟 (金工室)



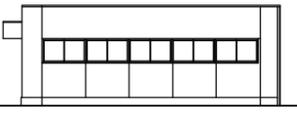
南側立面図 S=1:150  
東側・西側 管理・教室棟



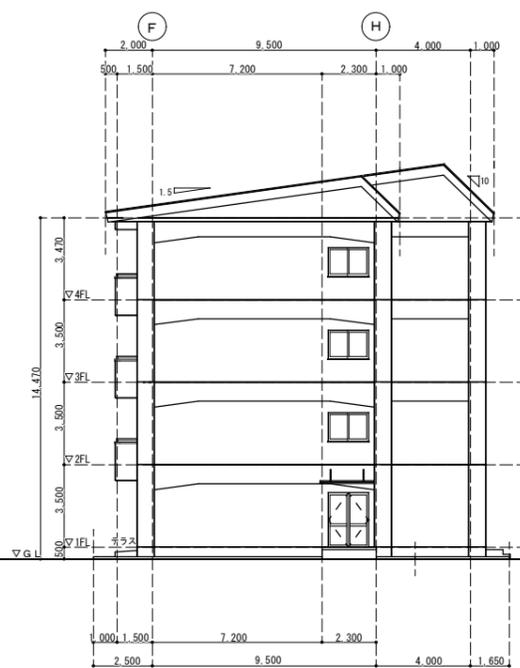
西側立面図 S=1:150  
西側 管理・教室棟



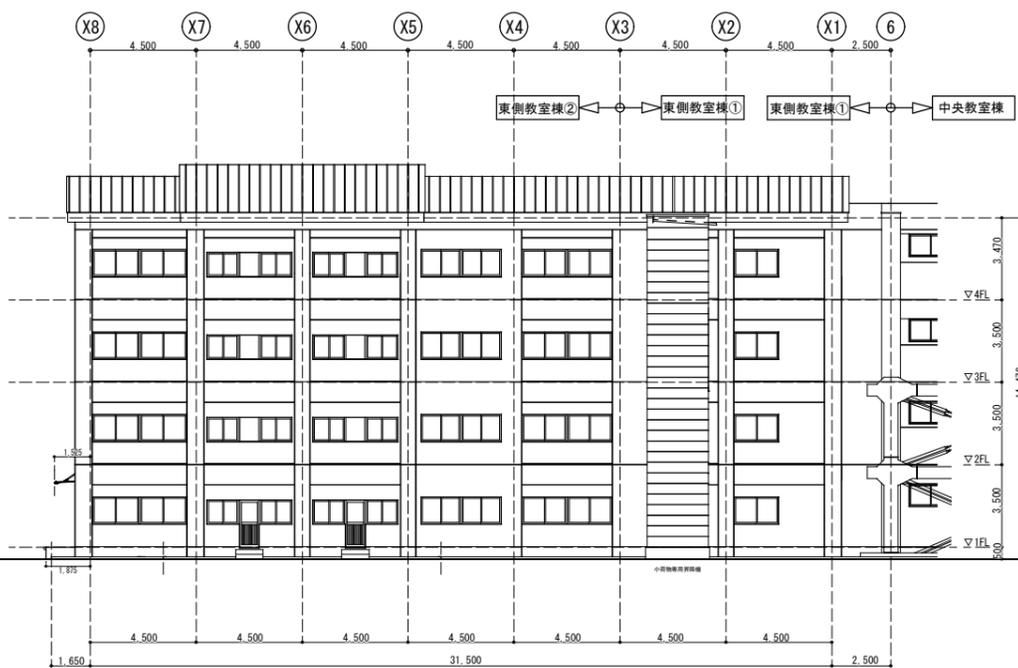
北側立面図 S=1:150  
東側 管理・教室棟 (金工室)



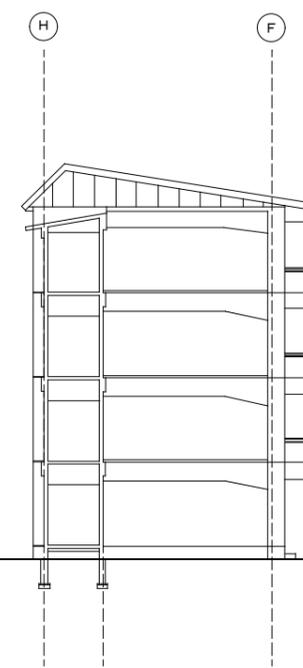
西側立面図 S=1:150  
東側 管理・教室棟 (金工室)



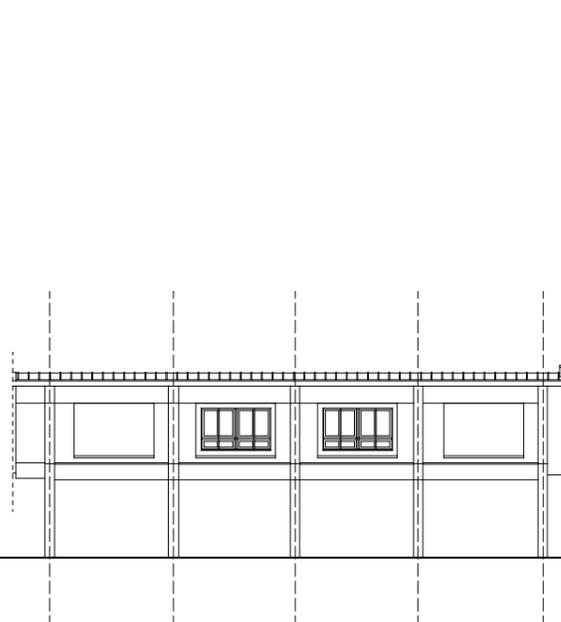
東側立面図 S=1:150  
東側教室棟①②



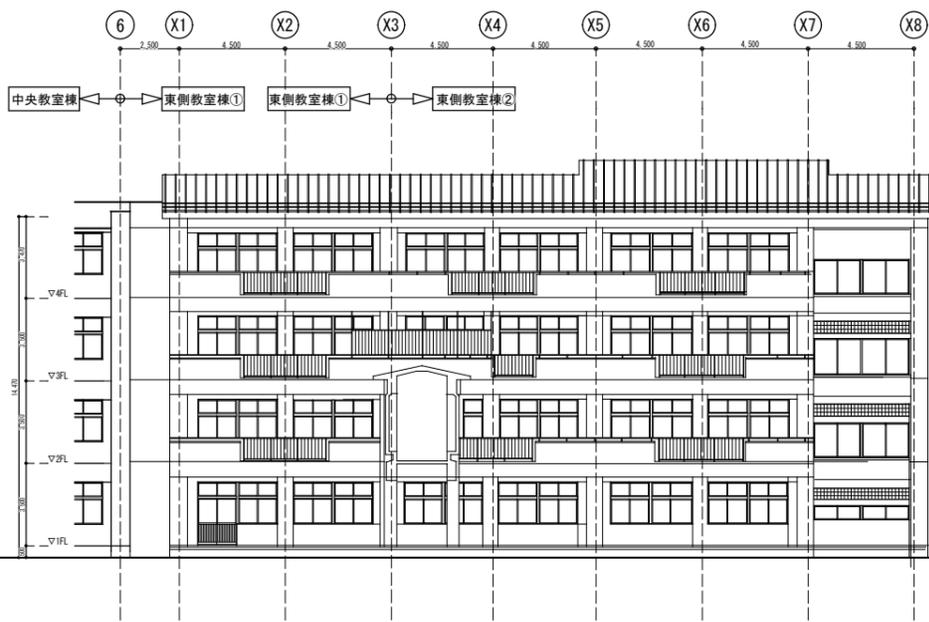
北側立面図 S=1:150  
東側教室棟①②



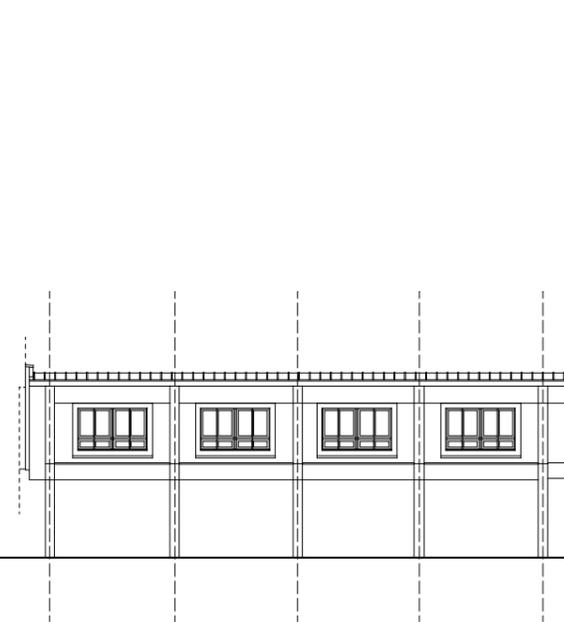
西側立面図 S=1:150  
東側教室棟②



西側立面図 S=1:150  
東側教室棟②

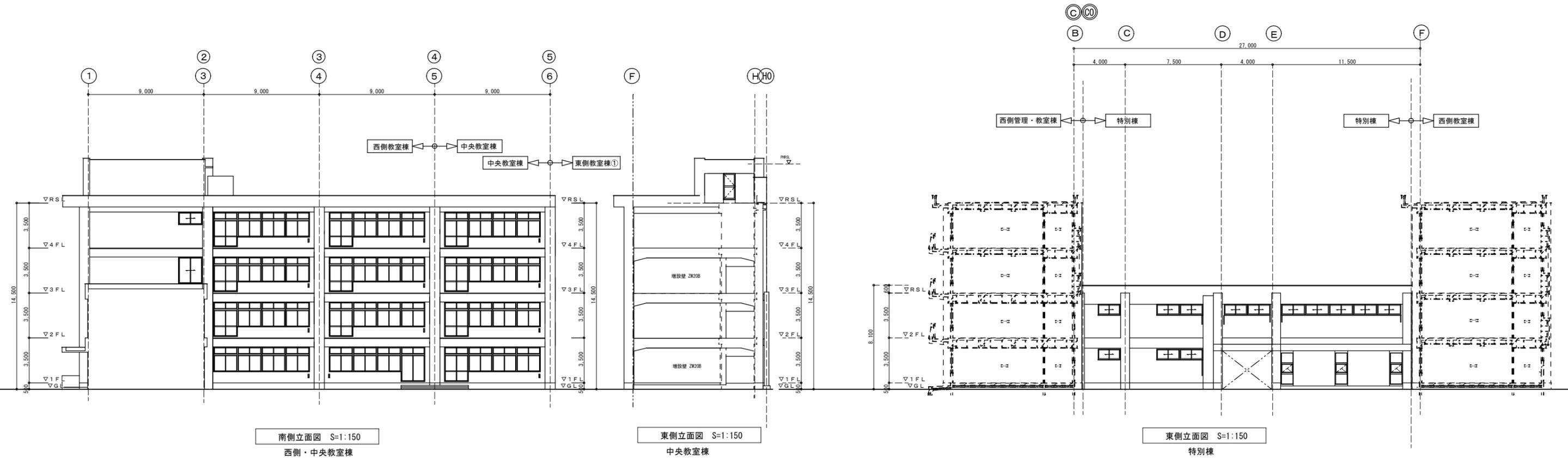
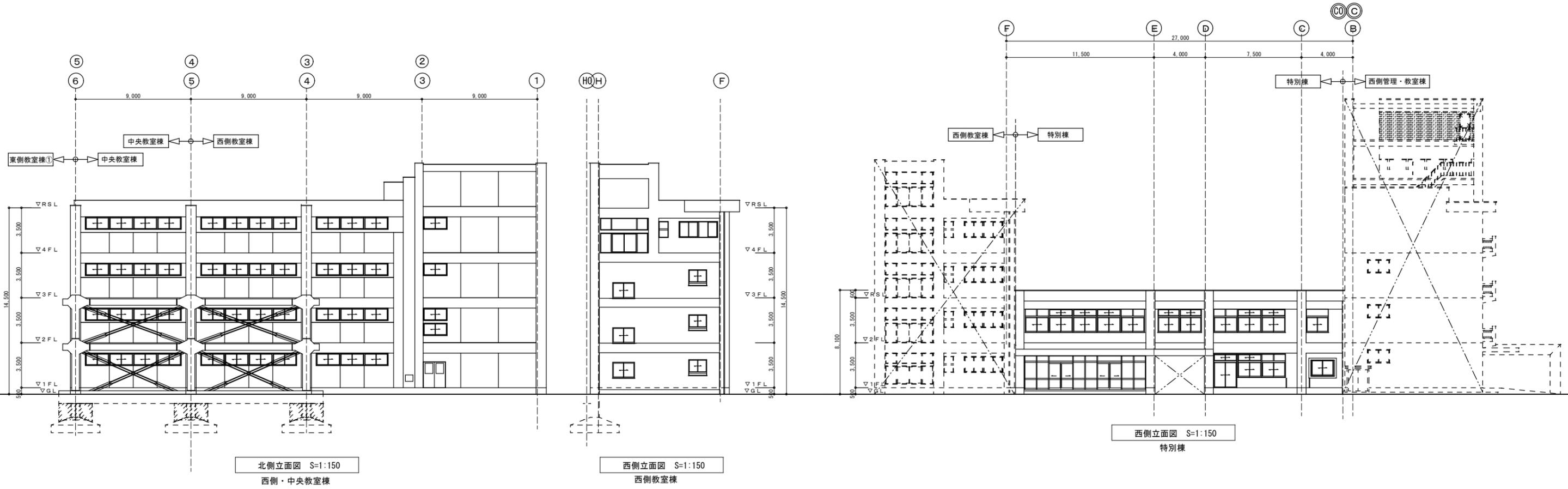


南側立面図 S=1:150  
東側教室棟①②



東側立面図 S=1:150  
東側教室棟②





■ 外部仕上表				■ 金物他			
外 壁	既存	コンクリート打放補修下地+可とう形外装薄塗材 E (アクリルリシン吹付)		バルコニー	既存	コンクリートモルタル仕上 笠木: 鋼板 t1.6	
	改修	既存塗膜 (7カブリシ) 除去 (RB種)、高圧洗浄+下地調整 (RB種)の上 防水形複層塗材RE仕上 (7カブリ系凹凸状ローラー) (基礎巾木: 高圧洗浄、基礎防水塗料塗り)			改修	高圧洗浄+下地調整 (RB種)の上 カルシウム防水 (平場、立上り: 密着工法 X-2) 笠木: 既存笠木撤去、天端 t1.6 補修の上、7.5 笠木 (W250程度) 新設	
庇	既存	防水モルタル金ゴテ仕上		建 具	既存	・職員玄関出入口: 既存改め殺し窓付両開き戸 ・防火区画用防火戸	
	改修	高圧水洗工法による既存塗膜除去+下地調整の上、ウレタン塗膜防水仕上			改修	・既存防火戸調整	
軒 裏	既存	コンクリート打放補修下地+可とう形外装薄塗材 E (アクリルリシン吹付)					
	改修	既存塗膜 (7カブリシ) 除去 (RB種)、高圧洗浄+下地調整 (RB種)の上 防水形複層塗材RE仕上 (7カブリ系凹凸状ローラー)					
屋 根 (陸屋根)	既存	防水下地モルタル及びシート防水 t=1.5					
	改修	既設シート防水 t1.5 撤去 笠木一時撤去の上再取付 仮防水の上シート防水 t1.5 新設					
屋 根 (勾配屋根)	既存	ラワンベニヤ t12 下地+アスファルトルーフィング 22kg の上 長尺カラー鉄板 t0.4 瓦棟葺 雪止め: L50×50×4					
	改修	既存塗膜除去 (RB種)、高圧洗浄+下地調整 (RB種)の上 弱溶剤形 2液 t1.6 錆止め塗料 1回+2液形 シン系屋根用塗料 上塗り 2回 雪止め: L50×50×4 下地調整 (シン・既存塗膜除去 RB種)+弱溶剤形 2液 t1.6 錆止め塗料 1回+2液形 シン系屋根用塗料 上塗り 2回					

※ 横口排水用ルーフレン (100φ用)  
・ 鋼鉄製 ねじ込み式 ・ 塗膜防水用

■ 備 考  
※ 共通事項  
・ 既存機器撤去後の取合い壁及び床・天井の仕上補修は改修工事を含む。

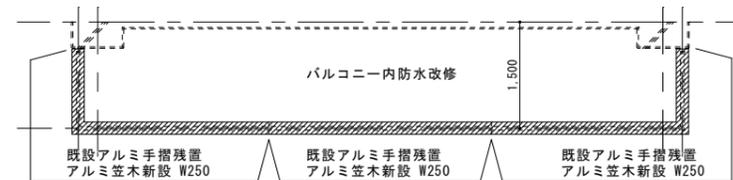
■ 内部仕上表											
階	棟名	室名	床下地	床	巾 木	壁 下 地	壁	天 井	天 井 高	備 考	
1F	西側・管理教室棟	既存	コンクリートモルタル下地	クリンカータイル 100×100	-	コンクリート下地	コンクリート打放シリコン吹付	コンクリート打放シリコン吹付	H=2,900	スロープ両向き立上りコンクリートVP	
		改修	モルタル下地撤去の上下地調整	新設磁器質タイル100×100		既存のまま	既存のまま	既存のまま	同上	スロープ両向き立上りコンクリートVP ・ステンレス製手摺新設 (内部塩ビ笠木) 既存撤去 RB種 新設複層塗材E (ゆず肌模様) (外部ステンレス笠木)	
	職員玄関ホール	既存	コンクリートモルタル下地	長尺塩ビシート t2.5	-	コンクリートモルタル金ゴテ下地	ゾラコート吹付	パラトン (Xタイプ)	H=2,900	上がり框: テラゾーブロック 100×100	
		改修	一部既存コンクリートモルタル撤去の上、 新設コンクリートモルタルの上、下地調整	一部既存長尺塩ビシート t2.5 撤去 新設長尺塩ビシート t2.5		既存のまま	既存のまま	既存のまま	同上	・上がり框: 一部撤去の上新設復旧 ・ステンレス製手摺新設 (内部塩ビ笠木) ・スロープ片側立上り新設の上、新設複層塗材E (ゆず肌模様)	
	西側・管理教室棟	既存	コンクリートモルタル下地	クリンカータイル 100×100	-		ゾラコート吹付	パラトン (Xタイプ)	H=3,100	上がり框: テラゾーブロック 100×100	
		改修	一部既存コンクリート+モルタル又は モルタル撤去の上、下地調整	新設磁器質タイル100×100		同上	既存のまま	既存のまま	同上	・上がり框: 一部撤去の上新設復旧 ・ステンレス製手摺新設 ・スロープ片側立上り新設の上、新設複層塗材E (ゆず肌模様)	
共通 (1階~4階)	西側・管理教室棟	既存	コンクリートモルタル下地	長尺塩ビシート t2.5	ソフト巾木H100	コンクリートモルタル金ゴテ下地	EP	コンクリートモルタル金ゴテ下地 EP	H=2,700		
		改修	一部コンクリート及びモルタル撤去 下地調整	一部既存長尺塩ビシート t2.5 撤去 新設長尺塩ビシート t2.5	一部既存ソフト巾木撤去の上 新設ソフト巾木	既存のまま (塗装下地) 軽量鉄骨壁下地 (新設'-'下地)	塗装面: 下地調整RB種 EP-G塗 新設ボード面: PB12.5+フレキ板5.0 EP-G塗	既存のまま (塗装下地) 一部既設軽鉄天井下地及び 化粧石膏ボード t9.0 撤去の上新設復旧	同上	・壁穴区画用防火戸・シャッター新設 (シャッターボックス天井内納まりタイプ) ・7.5天井点検口8ヶ所設置	
	東側・管理教室棟	既存	コンクリートモルタル下地	長尺塩ビシート t2.5	ソフト巾木H100	コンクリートモルタル金ゴテ下地	EP	コンクリートモルタル金ゴテ下地 EP	H=2,700		
		改修	一部コンクリート及びモルタル撤去 下地調整	一部既存長尺塩ビシート t2.5 撤去 新設長尺塩ビシート t2.5	一部既存ソフト巾木撤去の上 新設ソフト巾木	既存のまま (塗装下地) 軽量鉄骨壁下地 (新設'-'下地)	塗装面: 下地調整RB種 EP-G塗 新設ボード面: PB12.5+フレキ板5.0 EP-G塗	既存のまま (塗装下地) 一部既設軽鉄天井下地及び 化粧石膏ボード t9.0 撤去の上新設復旧	同上	・壁穴区画用防火戸・シャッター新設 (シャッターボックス天井内納まりタイプ) ・7.5天井点検口8ヶ所設置	
	西側教室棟	既存	コンクリートモルタル下地	長尺塩ビシート t2.5	ソフト巾木H100	コンクリートモルタル金ゴテ下地	EP	コンクリートモルタル金ゴテ下地 EP	H=2,700		
		改修	一部コンクリート及びモルタル撤去 下地調整	一部既存長尺塩ビシート t2.5 撤去 新設長尺塩ビシート t2.5	一部既存ソフト巾木撤去の上 新設ソフト巾木	既存のまま (塗装下地) 軽量鉄骨壁下地 (新設'-'下地)	塗装面: 下地調整RB種 EP-G塗 新設ボード面: PB12.5+フレキ板5.0 EP-G塗	既存のまま (塗装下地) 一部既設軽鉄天井下地及び 化粧石膏ボード t9.0 撤去の上新設復旧	同上	・壁穴区画用防火戸・シャッター新設 (シャッターボックス天井内納まりタイプ) ・7.5天井点検口8ヶ所設置	
		既存									
		改修									
		既存									
		改修									
		既存									
		改修									
		既存									
		改修									
	既存										
	改修										



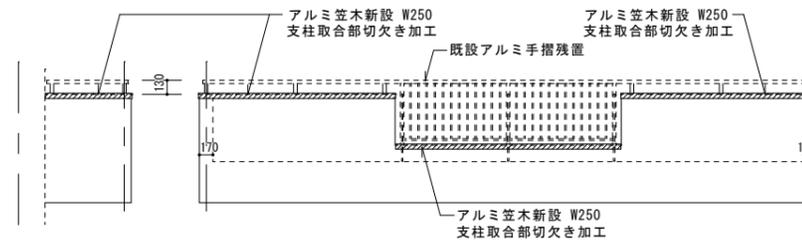
校舎1					
外壁劣化数量			バルコニー劣化数量		
亀裂部補修 m	設計	561	亀裂部補修 m	設計	26
浮き部補修 (一般部) ㎡	設計	127	浮き部補修 (一般部) ㎡	設計	70.1
浮き部補修 (狭幅部) m	設計	2.5	浮き部補修 (狭幅部) m	設計	
ジャンカ 0.3×0.3未満 箇所	設計		ジャンカ 0.3×0.3未満 箇所	設計	
コン部補修 箇所	設計		コン部補修 箇所	設計	
欠損部補修 0.3×0.3未満 箇所	設計	70	欠損部補修 0.3×0.3未満 箇所	設計	18
欠損部補修 0.5×0.5未満 箇所	設計	22	欠損部補修 0.5×0.5未満 箇所	設計	
欠損部補修 0.7×0.7未満 箇所	設計	12	欠損部補修 0.7×0.7未満 箇所	設計	2
欠損部補修 0.7×0.7以上 ㎡	設計	36.7	欠損部補修 0.7×0.7以上 ㎡	設計	
爆裂部補修 L=300未満 箇所	設計	38	爆裂部補修 L=300未満 箇所	設計	
爆裂部補修 L=600未満 箇所	設計		爆裂部補修 L=600未満 箇所	設計	
爆裂部補修 L=1000未満 箇所	設計		爆裂部補修 L=1000未満 箇所	設計	
爆裂部補修 L=1000以上 m	設計		爆裂部補修 L=1000以上 m	設計	

[修繕方法]

亀裂部補修⇒無機質系注入材 一材型(※亀裂注入対象とするクラック幅は0.3mm以上とする)  
 欠損部補修⇒研り、ホリマセメントモルタル充填  
 爆裂部補修⇒研り、除錆、防錆、ホリマセメントモルタル埋戻し  
 浮き部補修⇒エポキシ樹脂 部分 アンカピン  
 コン部補修⇒研り、除錆、防錆、ホリマセメントモルタル埋戻し  
 ジャンカ⇒研り、ホリマセメントモルタル充填



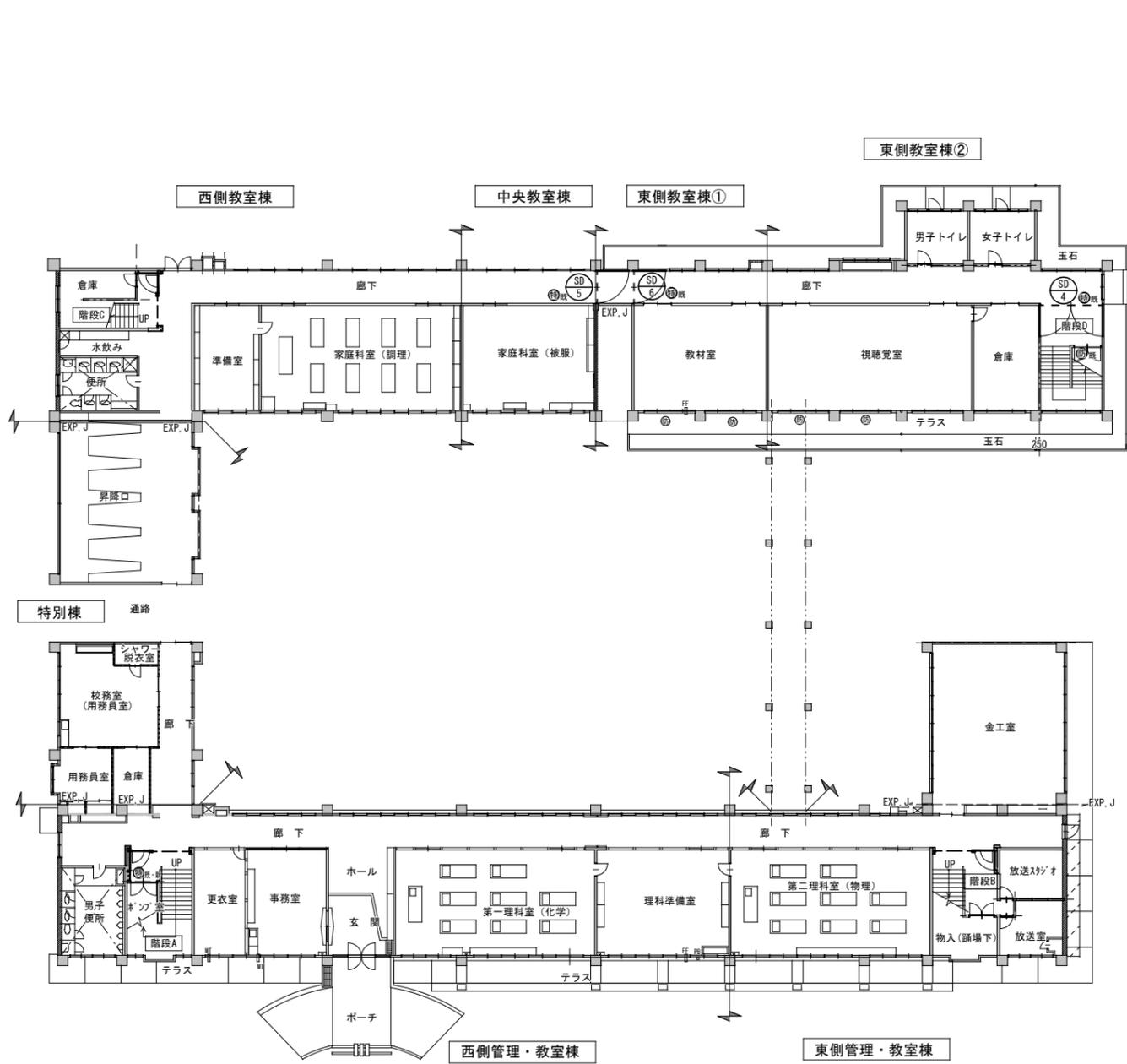
平面



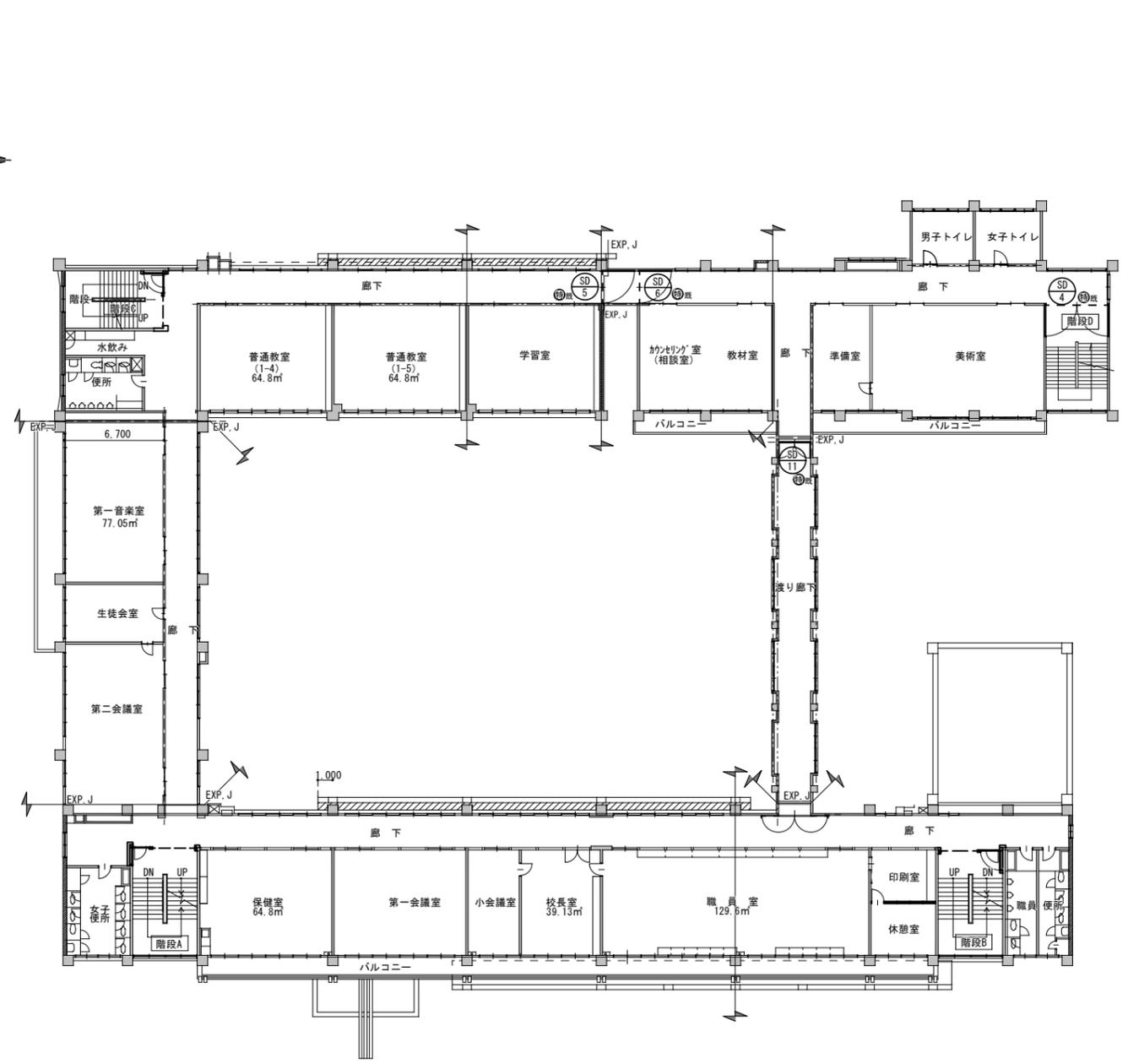
立面

バルコニー笠木改修参考図 S=1/50



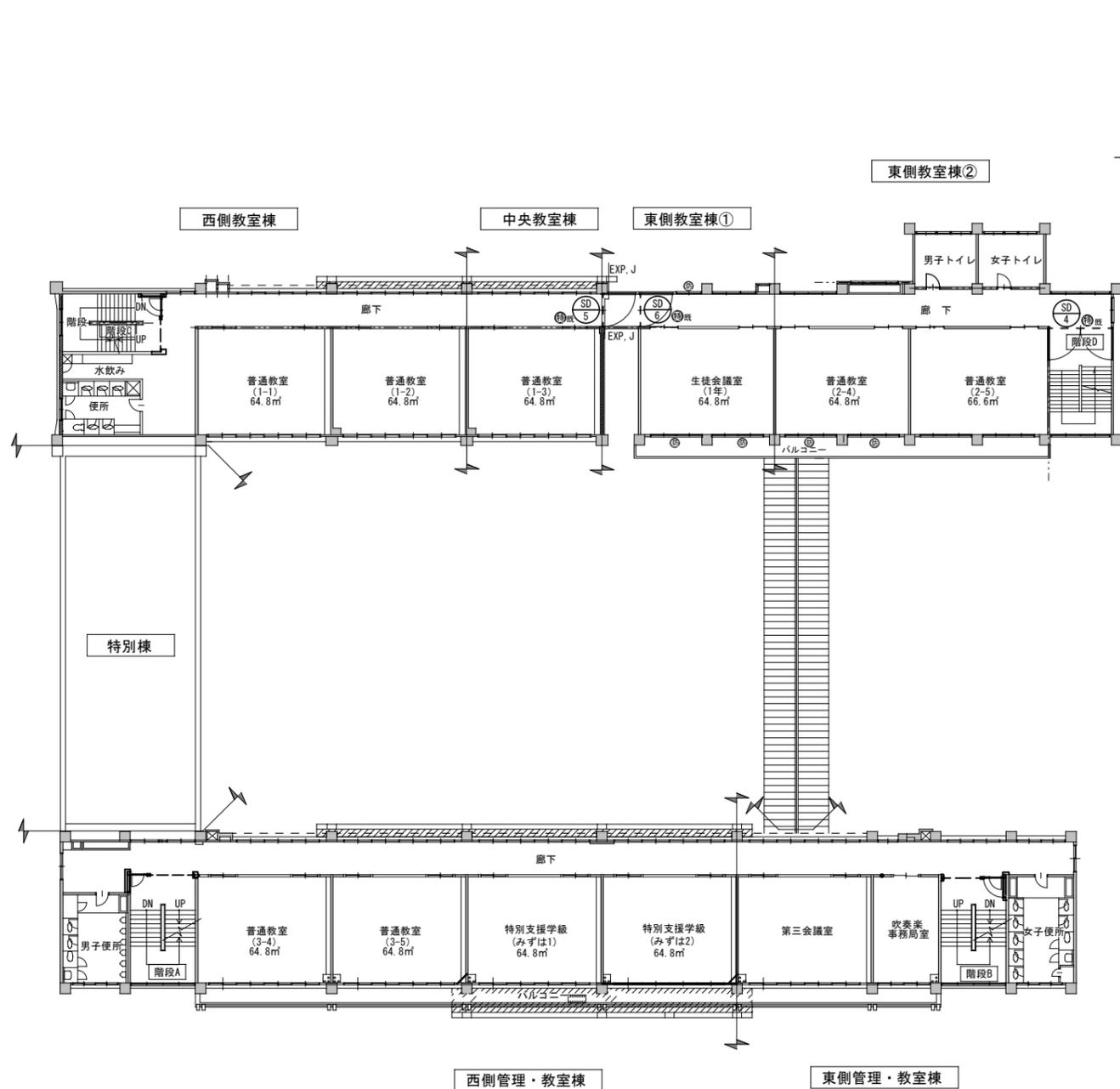


改修1階建具配置図 S=1:200

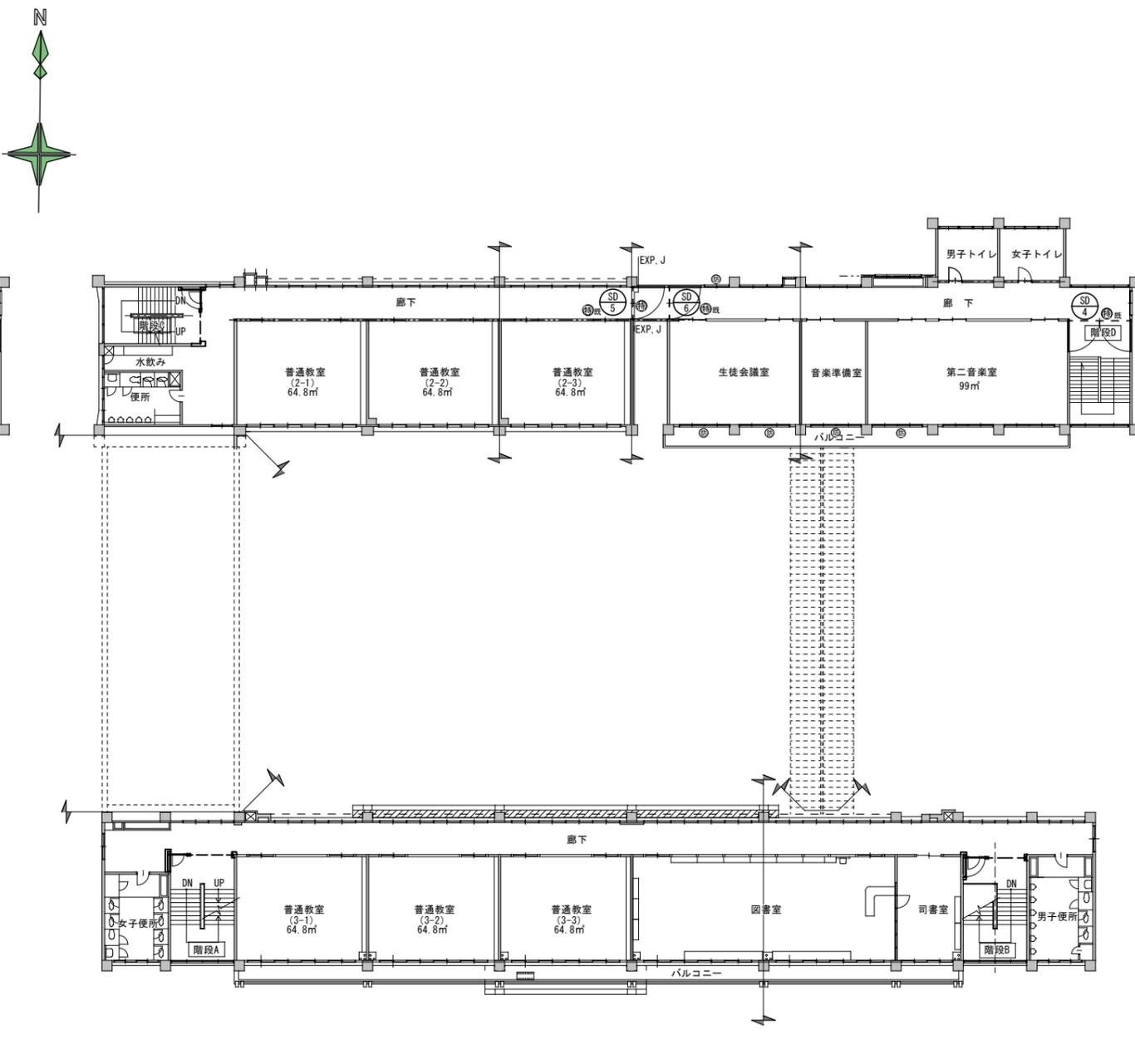


改修2階建具配置図 S=1:200

凡例	
	特定防火設備新設 (遮煙性能有)
	既設建具撤去の上特定防火設備新設 (遮煙性能有)
	既設特定防火設備機能調整
	既設防火設備撤去

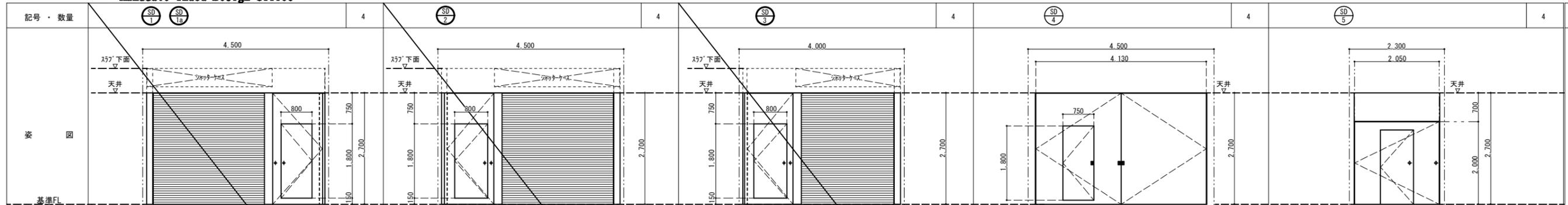


改修3階建具配置図 S=1:200



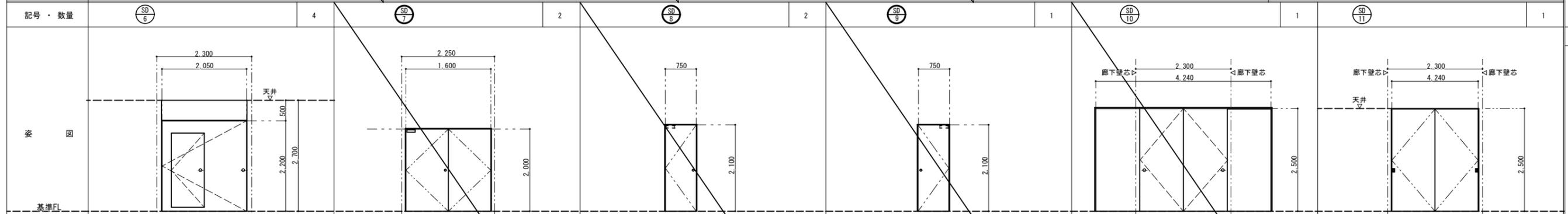
改修4階建具配置図 S=1:200

凡例	
	特定防火設備新設 (遮煙性能有)
	既設建具撤去の上特定防火設備新設 (遮煙性能有)
	既設特定防火設備機能調整
	既設防火設備撤去



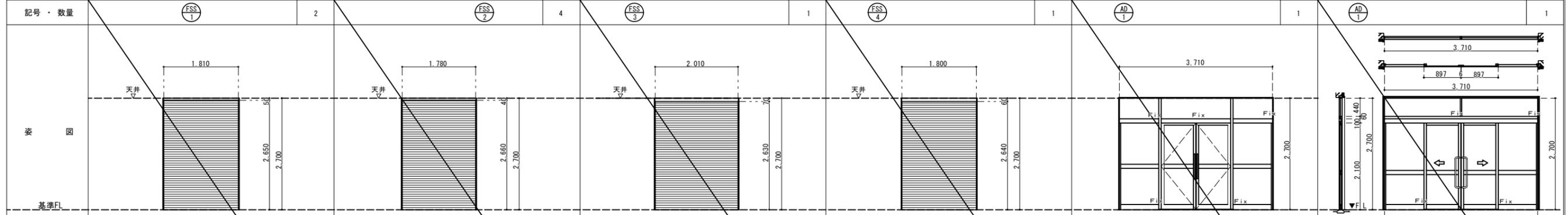
記号・数量	SD 1	4	SD 2	4	SD 3	4	SD 4	4	SD 5	4
型式・見込	煙感連動*スリス防火シャッター→常時開放式防火戸(手動式)	192	煙感連動*スリス防火シャッター→常時開放式防火戸(手動式)	192	煙感連動*スリス防火シャッター→常時開放式防火戸(手動式)	192	煙感連動常時開放式防火戸	100	煙感連動常時開放式防火戸	100
材質・仕上	スチール 表面材t1.6mm 溶融亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗		スチール 表面材t1.6mm 溶融亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗		スチール 表面材t1.6mm 溶融亜鉛メッキ鋼板 EP-G塗		スチール 表面材t1.6mm		スチール 表面材t1.6mm	
金物	付属金物一式 くぐり戸付き 自動閉鎖装置 連動制御器 煙感知器									
取付場所	階段B各階		各階階段A		各階階段C		各階階段D		中央教室棟廊下	
改修内容	新設改修		新設改修		新設改修		既設機能調整		既設機能調整	
備考	国交大臣認定: CAS-0221 ⇒ 遮煙性能を有する防火設備		国交大臣認定: CAS-0221 ⇒ 遮煙性能を有する防火設備		国交大臣認定: CAS-0221 ⇒ 遮煙性能を有する防火設備		甲種防火戸(平成12年以前) ⇒ 特定防火設備		甲種防火戸(平成12年以前) ⇒ 特定防火設備	

- RH レバーハンドル
- K 握り玉空錠
- KC 握り玉付シリンダー錠
- HC 本握りシリンダー錠
- MK モロック錠
- L レバーハンドル錠
- LA レバーハンドル錠
- AT 防音扉
- 防火設備
- 特殊防火設備
- 特殊防火設備 (煙感連動式常閉型)
- CR 外付カギ



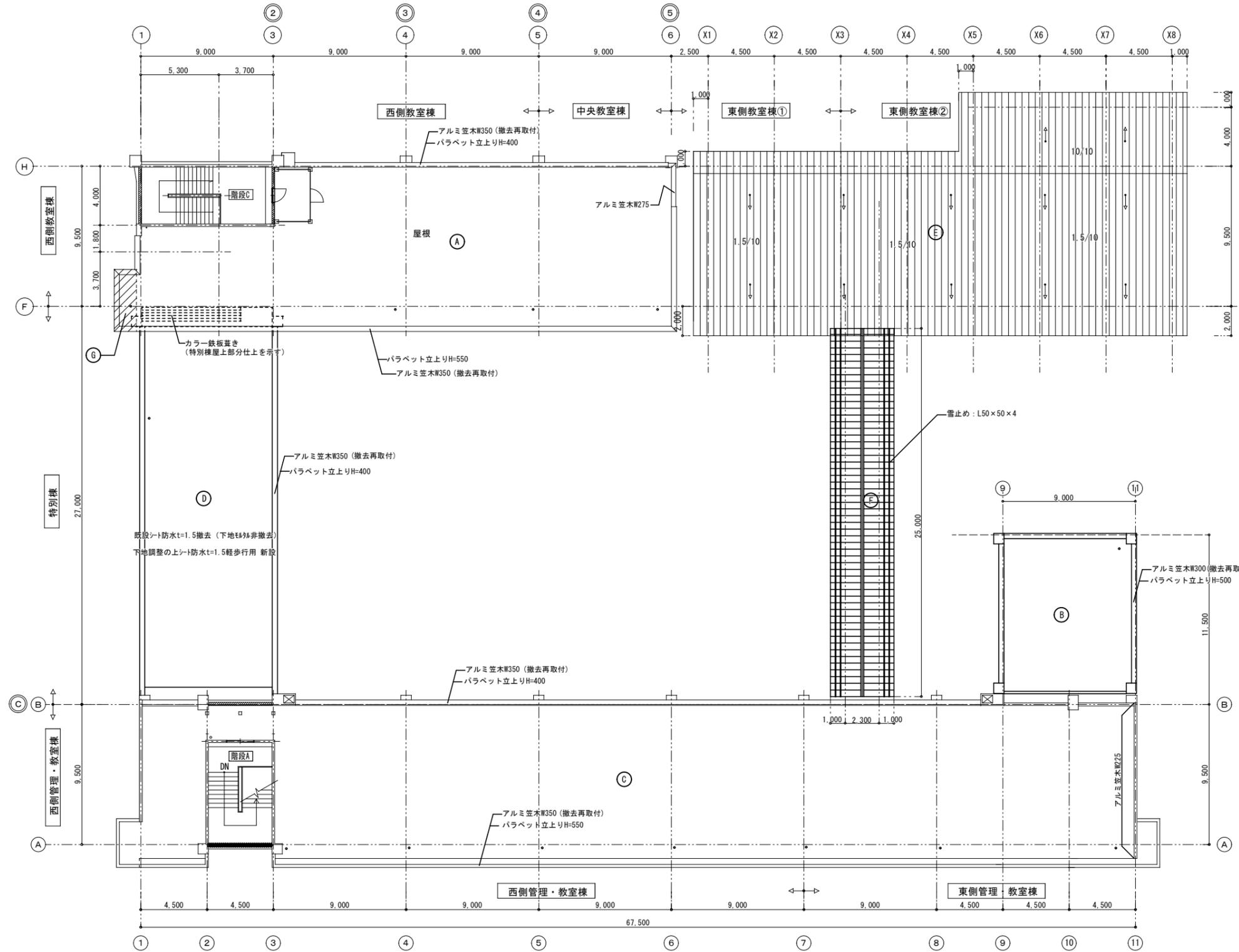
記号・数量	SD 6	4	SD 7	2	SD 8	2	SD 9	1	SD 10	1	SD 11	1
型式・見込	煙感連動常時開放式防火戸	100	常時閉鎖式防火戸	100	常時閉鎖式防火戸	100	常時閉鎖式防火戸	100	煙感連動常時開放式防火戸	100	煙感連動常時開放式防火戸	100
材質・仕上	スチール 表面材t1.6mm		スチール 表面材t1.6mm EP-G塗		スチール 表面材t1.6mm EP-G塗		スチール 表面材t1.6mm EP-G塗		スチール 表面材t1.6mm		スチール 表面材t1.6mm	
金物	付属金物一式 くぐり戸付き 自動閉鎖装置 連動制御器 煙感知器		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式 自動閉鎖装置 連動制御器 煙感知器		付属金物一式 自動閉鎖装置 連動制御器 煙感知器	
取付場所	中央教室棟廊下		1階階段A・B 階段下物入		1階階段B 放送室入口		1階階段B 放送スタジオ入口		2階東側管理・教室棟廊下渡り廊下部分		東側教室棟②渡り廊下部分	
改修内容	既設機能調整		既設木製引き違い戸(W1600×H2000)撤去の上新設		既設木製片開き戸(W750×H2100)撤去の上新設		既設木製片開き戸(W750×H2100)撤去の上新設		既設機能調整		既設機能調整	
備考	甲種防火戸(平成12年以前) ⇒ 特定防火設備		国交大臣認定: CAS-0257 ⇒ 遮煙性能を有する防火設備		国交大臣認定: CAS-0257 ⇒ 遮煙性能を有する防火設備		国交大臣認定: CAS-0257 ⇒ 遮煙性能を有する防火設備		甲種防火戸(平成12年以前) ⇒ 特定防火設備		甲種防火戸(平成12年以前) ⇒ 特定防火設備	

- FH フローヒンジ
- PH ピボットヒンジ
- LH ライトリーヒンジ
- T 丁番
- DC ドアクローザ
- F フランス渡し
- DS 戸当り
- AH オートヒンジ



記号・数量	FSS 1	2	FSS 2	4	FSS 3	1	FSS 4	1	AD 1	1	AD 1	1
型式・見込	常時開放式防火シャッター(手動式)	81	常時開放式防火シャッター(手動式)	81	常時開放式防火シャッター(手動式)	81	常時開放式防火シャッター(手動式)	81	嵌め殺し窓付両開き戸	100	嵌め殺し窓付引き分け戸(ハダゲタイプ)・自閉式	100
材質・仕上	スチール 表面材t1.6mm		スチール 表面材t1.6mm		スチール 表面材t1.6mm		スチール 表面材t1.6mm		ガラス(強化)		ガラス	
金物	付属金物一式 自動閉鎖装置 煙感知器		付属金物一式		付属金物一式 本締錠 ゴミ受 塞ぎ材 コーナガード 握り棒 1750							
取付場所	西側管理教室棟1階		西側管理教室棟1階~4階		西側教室棟1階		西側教室棟2階		西側管理教室棟1階 職員玄関		西側管理教室棟1階 職員玄関	
改修内容	既設撤去		既設撤去		既設撤去		既設撤去		既設撤去		新設	
備考	-		-		-		-		-		-	

- フロート
- スリ板
- 扉板
- 型板
- 熱線吸収ガラス
- 熱線吸収ガラス
- 熱線吸収ガラス
- 網入型
- 網入扉板
- 熱線吸収ガラス
- 網入扉板
- 熱線吸収ガラス
- 網入扉板
- 空気層

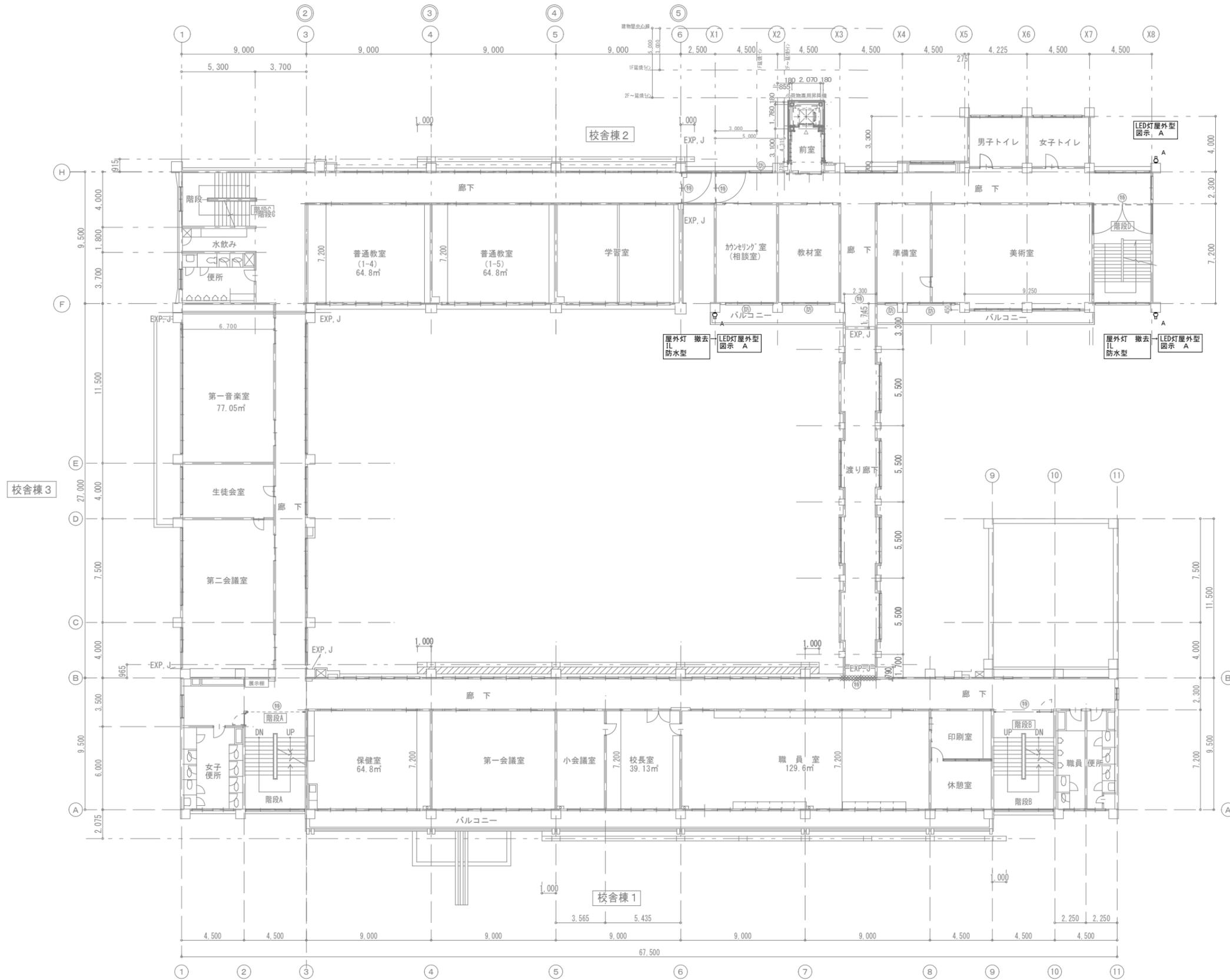


屋上・屋根平面図 S=1:150

記号	位置	内容
E, F	屋根 (勾配屋根)	既存 ラワンベニヤt12地下+アスファルトルーフィング22kgの上長尺カラー鉄板t0.4瓦棒葺 雪止め: L50×50×4
		改修 既存塗膜除去(RB種)、高圧洗浄+下地調整(RB種)の上 弱溶剤形2液球*杉錆止め塗料1回+2液形シリコン系屋根用塗料上塗り2回 雪止め: L50×50×4 下地調整(ケレン・既存塗膜除去RB種)+弱溶剤形2液球*杉錆止め塗料1回+2液形シリコン系屋根用塗料上塗り2回
A, B, C, D	屋根 (陸屋根)	既存 防水下地モルタル及びシート防水 t=1.5
		改修 既設シート防水t1.5撤去 笠木一時撤去の上再取付 仮防水の上シート防水t1.5新設

記号	位置	内容
G	西側教室棟屋上	既存 西側底部: コンクリート+モルタル下地シート防水t1.5 アルミ笠木 W=300
		改修 ・既設シート防水t1.5及び下地モルタル全面撤去、庇部分(西面)躯体切断撤去、アルミ笠木(W300)撤去の上、コンクリート躯体パラペット部新設、下地調整の上シート防水下地モルタル及びシート防水t1.5、7尺笠木(W300)新設 ・既設ルーフトレン撤去及び壁種撤去の上、横引きルーフトレン新設(φ100)用+整頓白ガス管φ100新設SOP ・工法: 平場⇒絶縁工法、立上り⇒密着工法 ※施工時は天候等の影響による、下部への漏水など発生させないよう十分留意し施工する事。





2階平面図 S=1:150

**LED灯 屋外型**

**A** 器具光束：6.000lm相当 43.3W相当

※カッタールーバー付  
※投光器台

本体：アルミ（シルバーメタリック）、パネル：ポリカーボネート  
電圧100V  
落下防止ワイヤー付



記号凡例

特	特定防火設備
防	防火設備